

旧ケアセンターおおつ棟改修工事

| 図番 | 図面名称 | 縮尺 |
|--------|--------------------------------|-------------|
| | 建築 | |
| A - 1 | 特記仕様書1 | 1 : --- |
| A - 2 | 特記仕様書2 | 1 : --- |
| A - 3 | 特記仕様書3 | 1 : --- |
| A - 4 | 配置図 現況1・2階案内図 | 1 : 800・200 |
| A - 5 | 内部仕上表 | 1 : --- |
| A - 6 | 現況 1階平面図 | 1 : 100 |
| A - 7 | 現況 平面詳細図 | 1 : 50 |
| A - 8 | 改修後 平面詳細図-1 | 1 : 50 |
| A - 9 | 改修後 平面詳細図-2 | 1 : 50 |
| A - 10 | 改修後 平面詳細図-3 | 1 : 50 |
| A - 11 | 現況 展開図 | 1 : 50 |
| A - 12 | 改修後 展開図-1 | 1 : 50 |
| A - 13 | 改修後 展開図-2 | 1 : 50 |
| A - 14 | 建具特記仕様書 | 1 : --- |
| A - 15 | 現況 改修後 建具配置図 建具リスト 現況 改修後 天井伏図 | 1 : 50・100 |
| A - 16 | 厨房機器配置図 厨房機器リスト | 1 : 50 |

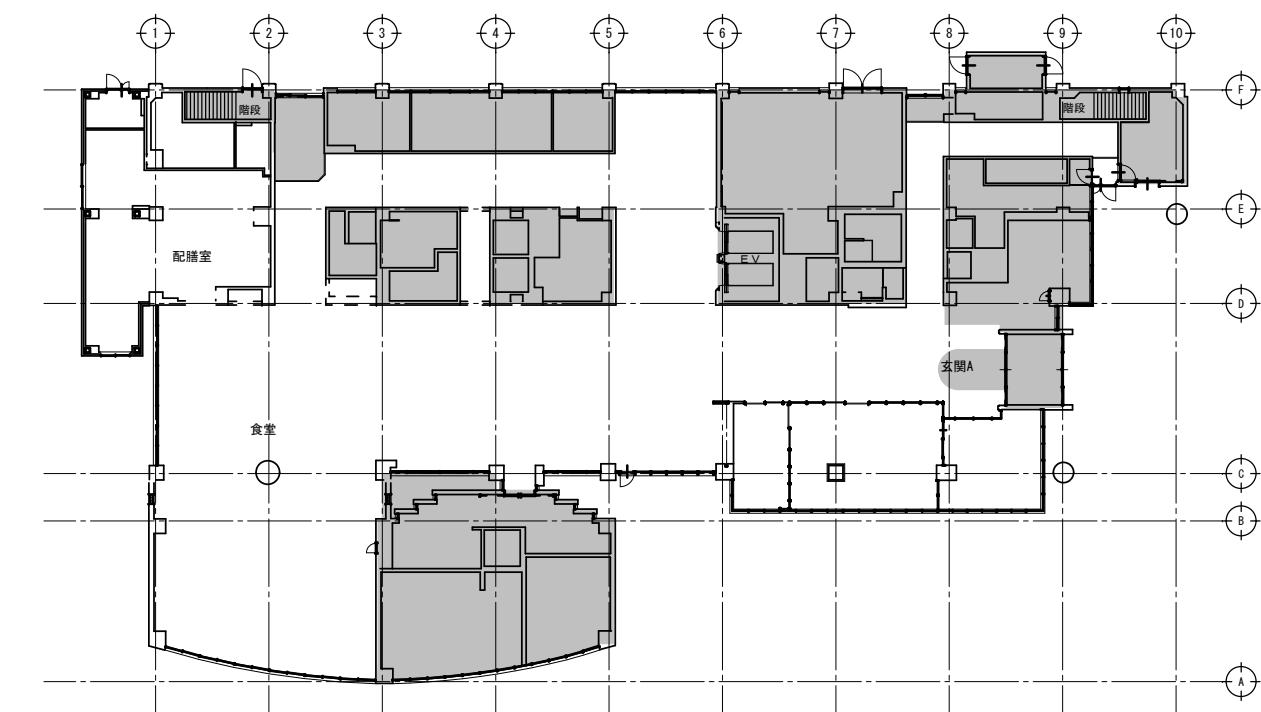
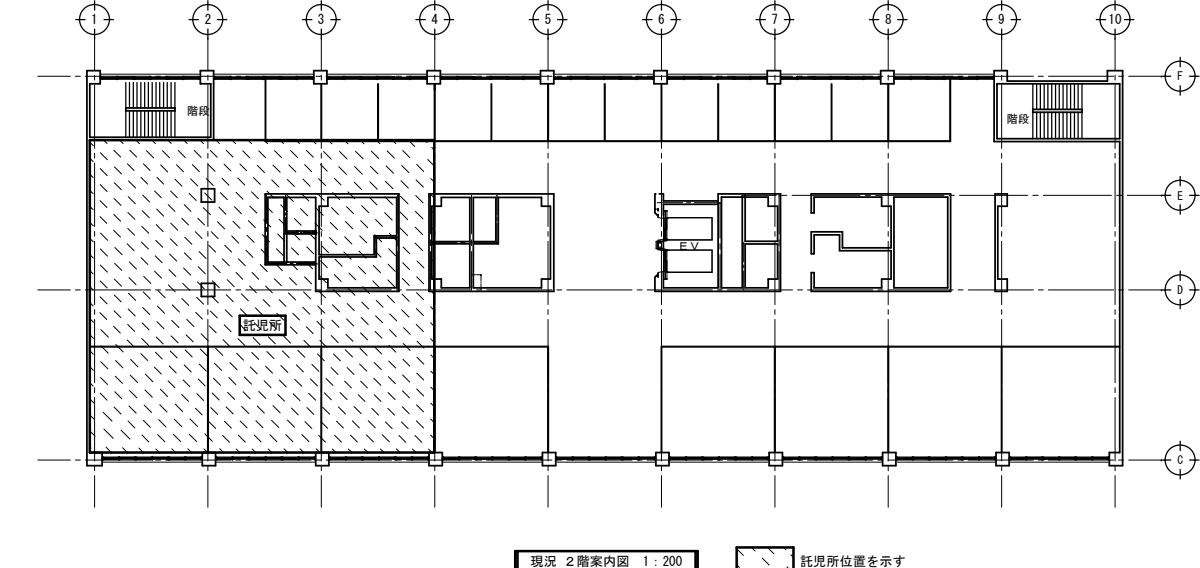
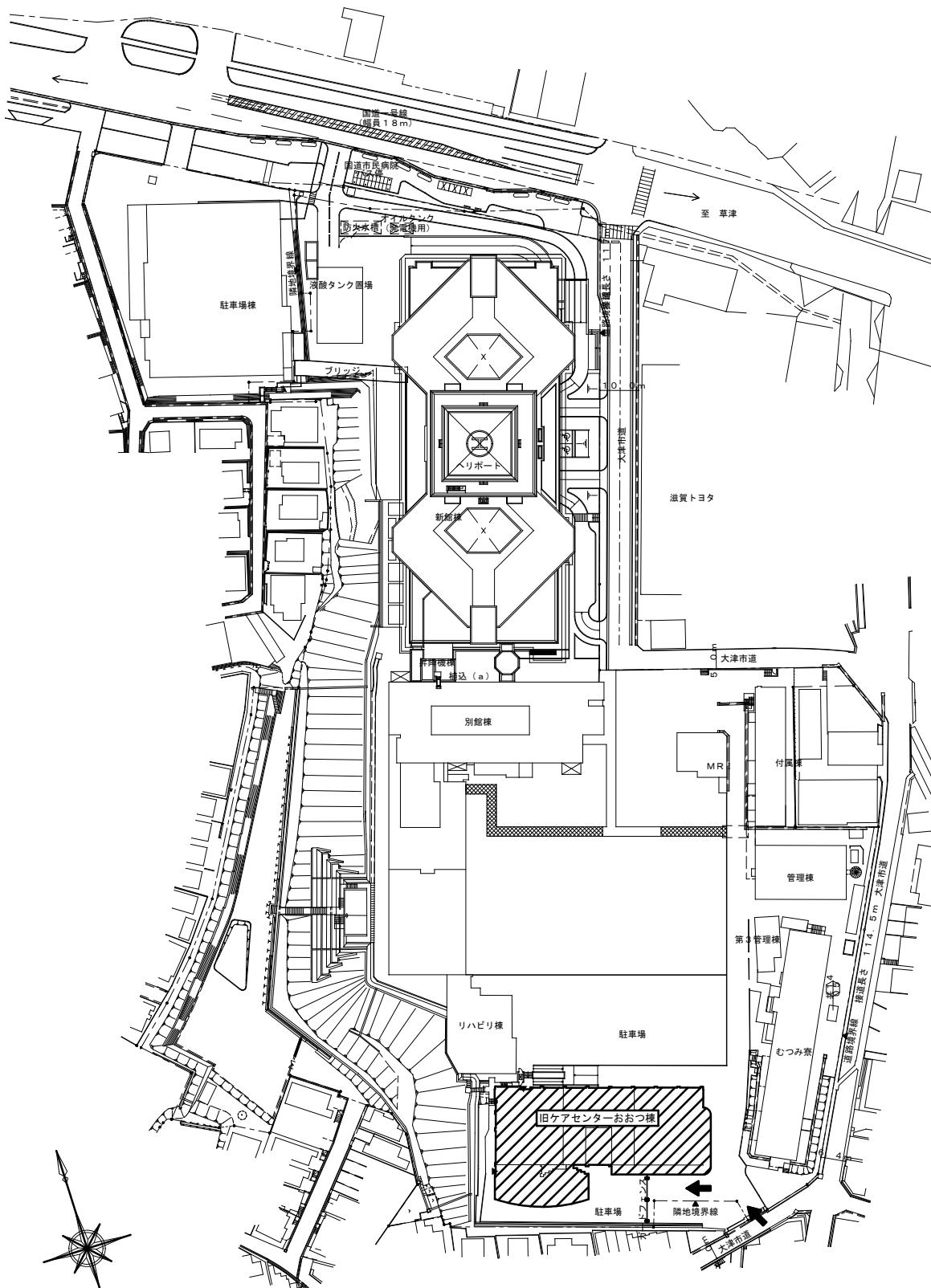
| 図番 | 図面名称 | 縮尺 |
|-------|-----------------------------|---------|
| | 電気設備 | |
| E - 1 | 電気設備工事 特記仕様書1 | 1 : --- |
| E - 2 | 電気設備工事 特記仕様書2 現況 改修後 分電盤結線図 | 1 : --- |
| E - 3 | 改修後 コンセント設備平面詳細図 | 1 : 50 |
| E - 4 | 現況 改修後 電灯設備平面詳細図 | 1 : 50 |
| E - 5 | 改修後 空調設備平面詳細図 | 1 : 50 |
| E - 6 | 自動火災報知設備平面詳細図 | 1 : 50 |

| 図番 | 図面名称 | 縮尺 |
|-------|---------------------------|---------|
| | 機械設備 | |
| M - 1 | 機械設備特記仕様書1 | 1 : --- |
| M - 2 | 機械設備特記仕様書2 | 1 : --- |
| M - 3 | メーカーリスト | 1 : --- |
| M - 4 | 現況 改修後 衛生設備平面詳細図 | 1 : 50 |
| M - 5 | 新設 機器リスト 現況 改修後 空調設備平面詳細図 | 1 : 50 |
| M - 6 | 現況 改修後 換気設備平面詳細図 | 1 : 50 |

| 建築工事特記仕様書 | | |
|--|---|--|
| 一般共通事項 | 章 | 項目 |
| | 特記事項 | |
| ① | ①適用基準等 | ○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁常総部監修 最新版) ○常総工事写真撮影要領(令和3年改定)国土交通省大臣官房官庁常総部監修 最新版 ○建築物解体工事共通様式(国土交通省大臣官房官庁常総部監修 最新版) |
| | ※適用する(受注金額が500万円(税込)以上の工事に限る。) | (1.1.4) |
| ② | ②工事実績情報の登録(CORINS) | |
| | ※概成工期(5ヶ月) | (1.2.1) |
| ③ | ③施工工程表 | 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要※不要 |
| | (1.3.3) | |
| ④ | 4 電気保安技術者 | |
| | 下記による。 | (1.3.5) |
| ⑤ | ⑤施工条件 | ○工事用車両の駐車場所※図示 ○資機材置場※図示 ・建設発生土仮置場※図示(面番号A-7図) |
| | ※施工にあたり、下記事項に注意すること。 (1) 工事着手前に付近の状況を調査し、公害並びに安全対策を工事竣工まで講じること。 (2) シンナー等危険物については、工事現場に放置することなく保管管理を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等、確実な管理を行うこと。 (3) 受注者は、道路交通法を遵守し、過積載等の違反行為防止を図ること。 (4) 工事については、施設管理者に理解協力を求め、常に事故防止に勤めること。 (5) 工事時の各種警笛について施設管理者及び周辺住民よりの苦情に充分配慮の上作業を行うこと。 受注者が地元説明会を開催する場合は、受注者は資料作成に協力し、適宜同席すること。 (6) 既存建物に障害を生じた場合は、速やかに受注者の負担において現状復旧し監督職員の承認を得ること。 (7) 図面は工事の大略を示すもので、施工に先立ち現場の実測調査を行うこと。 | |
| ⑥ | ⑥発生材の処理等 | ※標準搬出適切処理 ・発生材のうち、引渡しを要するもの※図示(面番号A-) ・発生材のうち、現場にて再利用を図るもの※図示(面番号A-) |
| | 産業廃棄物の処理について、受注者は、産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、マニュフェスティスティムにより的確に実施することとし、事前に監督職員に施工計画書を提出し、承諾を得ること。 | |
| ⑦ | ⑦建設副産物実態調査について | (1) 調査様式 ① 数量調査・総量調査表 ② 搬出先調査 様式1: 再生資源利用計画書(実施書)-建設資材搬入工事用- 様式2: 再生資源利用促進計画書(実施書)-建設資材搬出工事用- (2) 作成方法 国土交通省ホームページに公開されているEXCEL形式の様式にて作成・提出すること。 (3) 提出方法 総量調査: 総量調査表をプリントアウトしたもの1部とEXCELファイルを提出すること。 搬出先調査: 様式1、様式2のプリントアウトしたもの1部とEXCELファイルを提出すること。 |
| | 工事車両の出入りについては、危険防止に努めること。(1.3.8) (1) 必要に応じて交通整理員を配置するとともに近隣家屋に騒音、振動等公害発生のないよう留意し、全般に支障がないよう万全の策を講じること。実施については、警備計画書を作成し、監督職員の承諾を得ること。 (2) 工事期間中、交通整理員を延べ15人配置すること。又事前に警備計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。 (3) 廃材運搬に際しては、道路交通法を遵守し過積載を防止するとともに下請業者にも徹底すること。 | |
| ⑧ | ⑧交通安全管理 | 標示 1.4.2 による。(1.4.2) |
| | 標示に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 | |
| ⑨ | ⑨材料の品質等 | 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書を提出すること。 なお責任施工のものは受注者、施工業者、材料製造所の連名書とする。 |
| | 工事に記載されたものと異なる場合は、標示の当該項目、当該図又は当該表を示す。 | |
| ⑩ | ⑩特別な材料の工法 | |
| | 工事に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 | |
| ⑪ | ⑪各種検査合格書等 | |
| | 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書を提出すること。 なお責任施工のものは受注者、施工業者、材料製造所の連名書とする。 | |
| II 建築工事仕様 | 1. 共通仕様 | 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁常総部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下「標示」という。)により、標示に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁常総部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下「改修標示」という。)による。 |
| | 2. 特記仕様 | (1) 章、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と○印の付いた場合は、ともに適用する。 (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標示の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の(別図 各部記述)は、標示の「別図 各部記述」の当該項目又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標示の当該項目、当該図又は当該表を示す。 |
| <p>(※) 1. 本工事において、建築業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下「特例監理技術者」という。)の配置を行う場合は以下の[1]～[8]の要件を全て満たさなければならない。</p> <p>[1] 建築業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。</p> <p>[2] 監理技術者補佐は、一般施工管理技士又は一般施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐は建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目と同じであることを。</p> <p>[3] 監理技術者補佐は入札参加者と直接かつ恒常的な雇用関係にあること。</p> <p>[4] 同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性</p> | | |
| <p>が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。)については、これらの複数の工事を一の工事とみなす。)</p> <p>[5] 特例監理技術者が業務できる工事は大津市内の工事でなければならない。</p> <p>[6] 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。</p> <p>[7] 特例監理技術者は、監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。</p> <p>[8] 監理技術者補佐が2人業務等について、明らかにすること。</p> <p>2. 本工事の監理技術者補佐は特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項[1]～[8]の事項について確認できる書類を下記により提出すること。</p> <p>[1] 監理技術者補佐の資格を有する書類(一級施工管理技士等の国家資格者などの合格証など)</p> | | |
| <p>[2] [1] の提出書類と同じ</p> <p>[3] 監理技術者補佐の直接かつ恒常的な雇用関係を証明する書類(3か月以上の雇用関係を証明できる健康保険被保険者証の写しなど)</p> <p>[4] 特例監理技術者が業務する工事のCORINSの写し等</p> <p>[5] [4] の提出書類と同じ</p> <p>[6] 業務分担、連絡体制等を記載した書類(施工計画書など)</p> <p>[7] [6] の提出書類と同じ</p> <p>[8] [6] の提出書類と同じ</p> <p>3. 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にCORINSへの登録を行うこと。</p> | | |
| 章 | 項目 | 特記事項 |
| 12 技能士 | 適用工事種別 | 技能検定作業 |
| 仮設工事 | ・とび作業 | |
| 鉄筋工事 | ・鉄筋組立作業 | |
| コンクリート工事 | ・型枠作業・コンクリート圧送工事作業 | |
| 鋼骨工事 | ・構造物鉄工作業・とび作業 | |
| コンクリートブロック | ・コンクリートブロック工事作業 | |
| ・ALCパネル | ・押出成形セメント板工事 | |
| 防水工事 | ・アスファルト防水工事作業・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業・FRP防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業・シリリング防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業・セメント系防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 | |
| 石工事 | ・石張り作業 | |
| タイル工事 | ・タイル張り作業 | |
| 木工事 | ・大工工事作業 | |
| 屋根及びひとい工事 | ・内外装板金作業・スレート工事作業 | |
| 金属工事 | ・鋼板下地工事作業・内外装板金作業 | |
| 左官工事 | ・左官作業 | |
| 建具工事 | ・ビル用サンク工事作業・ガラス工事作業・自動ドア施工業 | |
| カーテンウォール工事 | ・金属製カーテンウォール工事作業・ビル用サンク施工業 ・ガラス工事作業 | |
| 塗装工事 | ・建築塗装作業 | |
| 内装工事 | ・プラスチック系床上げ工事作業・カーペット系床上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業・壁作業 | |
| 排水工事 | ・建築配管作業 | |
| 舗装工事 | ・溶接ペイント・ハンドマーク工事作業 ・加熱ペイント・マシンマーク工事作業 | |
| 植栽工事 | ・造園工事作業 | |
| 13 見本施工の実施 | 次の施工箇所については、見本施工を行う。(1.5.5) | |
| ⑭ 化学物質の濃度測定 | 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロベンゼンの濃度を測定し、報告する。 測定はバッジ型採取機器により行う。 着工前の測定※行わない ○行う測定対象室厨房 | |
| 15 完成時の提出図書 | 工事完了前の測定 測定対象室厨房 測定箇所数5箇所 ※完成図提出部数※各3部・部 ※施工計画書提出部数※2部・部 ※施工工提出部数※2部・部 ※保全に関する資料提出部数※2部・部 (1.7.1～3) (表1.7.1) | |
| ⑯ 完成写真 | 次のもを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格撮影箇所数提出部数原板の大きさ(mm) ○カラー※キャビネット外部()内部()※30※2※100×125以上 ・外観正面(※1・)※5 ・カラー四切木製パネル外部()内部()※2 ・カラー半切木製パネル外部()内部()※2 ○電子データ外部()内部()※30※2※500万画素以上 撮影業者は、建築完成写真撮影の実績がある者とする。 電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出する。 | |
| ⑰ 工事写真 | 区分分類・規格撮影枚数部数(ネガ1枚につき)備考 着工前カラーL版必要に応じて1状況によりつなぎ写真 工事中カラーL版必要に応じて1必要に応じ 完成時カラーL版工事箇所3枚程度1 既設写真(カラー・キャビネット)工事箇所3枚程度2電子データ共 ※ネガ又は電子データを提出すること。 | |
| ⑯ 設備工事との取合い | 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 | |
| 19 設計G.L. | ※図示・既設建物階高実測により決定すること | |
| 20 施工図の取り扱い | 施工図等の著作権に係わる当該建物に限り使用権は、発注者に移譲するものとする。 | |
| 21 施工体制台帳及び施工体系図 | 工事現場における適正な施工体制を確保する為、公共工事の発注者が下請契約を締結するときは、その金額にかかわらず、建築業法に定める施工体制台帳及び施工体系図を作成すること。 | |
| 22 火災保険等 | 本工事に際し下記内容以上の保険に加入し、契約書の写し又は証明書を提出すること。 ①保険種目 1. 工事目的、工事材料及び保険物等に生じる損害を填補する「建設工事保険」又は「組立保険」(以下「建設工事保険等」という。) 2. 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する「請負業者賠償責任保険」 3. 工事の施工に伴う労働災害被災者を救済する労働者災害補償保険法に基づく労働保険以外の保険等(以下「法定外労災保険等」という。) ②保険契約者 受注者 ③被保険者 1. 「建設工事保険等」及び「請負業者賠償責任保険」は、市立市民病院、受注者、関係する全下請負者 2. 「法定外労災保険等」は、本工事に從事するすべての労働者 ④保険期間 (○)現場着手の日・基礎工事完了直後の日)から契約工期の1ヶ月後まで。 ただし、「請負業者賠償責任保険」及び「法定外労災保険等」については現場着手の日からとする。 | |
| 23 仮設脚手架その他 | 外部足場※手すり先行足場 内部足場種別※脚立、足場板等・棚脚足場 防音シートによる養生※行う・行わない 材料、撤去材等の運搬 ・A種※B種・C種・D種・E種 (2.2.4) [2.2.1] | |
| 24 養生 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 25 仮設簡易切 | 仮設間仕切り等の種別 種別下地仕上材(厚さ mm)充てん材塗装 ・A種・軽量鉄骨合板(※0.0・)厚さ mm※無し ・B種・木地・せっこうボード(※9.5・)・片面 ・C種单管下地防炎シート※無し 仮設扉※木製扉※合板張り程度 ・鋼製扉※片面フラッシュ程度 (2.3.2) [表2.3.1] | |
| 26 ④ 監督職員事務所 | 横内に設置する・図示(面番号A-)◎設けない 規模: 備品() (2.3.1) | |
| 27 ⑤ 工事用水 | 構内既存の施設※利用できない○利用できる◎有償・無償 (2.3.1) | |
| 28 ⑥ 工事用電力 | 構内既存の施設※利用できない○利用できる◎有償・無償 (2.3.1) | |
| 29 ⑦ 仮囲い | ※図示 図示によるほか、万能鋼板、金網、フェンスバリケード、鉄板塀・板塀等の仮設計画を立案し、施設管理者、監督職員らと協議の上、設置すること。 | |
| 30 ⑧ 新規H管 | 外部足場※手すり先行足場 内部足場種別※脚立、足場板等・棚脚足場 防音シートによる養生※行う・行わない 材料、撤去材等の運搬 ・A種※B種・C種・D種・E種 (2.2.1) [表2.2.1] | |
| 31 ⑨ 仮設簡易切 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 32 ⑩ 仮設間仕切り等の種別 | 仮設間仕切り等の種別 種別下地仕上材(厚さ mm)充てん材塗装 ・A種・軽量鉄骨合板(※0.0・)厚さ mm※無し ・B種・木地・せっこうボード(※9.5・)・片面 ・C種单管下地防炎シート※無し 仮設扉※木製扉※合板張り程度 ・鋼製扉※片面フラッシュ程度 (2.3.2) [表2.3.1] | |
| 33 ⑪ 監督職員事務所 | 横内に設置する・図示(面番号A-)◎設けない 規模: 備品() (2.3.1) | |
| 34 ⑫ 工事用水 | 構内既存の施設※利用できない○利用できる◎有償・無償 (2.3.1) | |
| 35 ⑬ 工事用電力 | 構内既存の施設※利用できない○利用できる◎有償・無償 (2.3.1) | |
| 36 ⑭ 仮囲い | ※図示 図示によるほか、万能鋼板、金網、フェンスバリケード、鉄板塀・板塀等の仮設計画を立案し、施設管理者、監督職員らと協議の上、設置すること。 | |
| 37 ⑮ 既設簡易切 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 38 ⑯ 仮設間仕切り等の種別 | 仮設間仕切り等の種別 種別下地仕上材(厚さ mm)充てん材塗装 ・A種・軽量鉄骨合板(※0.0・)厚さ mm※無し ・B種・木地・せっこうボード(※9.5・)・片面 ・C種单管下地防炎シート※無し 仮設扉※木製扉※合板張り程度 ・鋼製扉※片面フラッシュ程度 (2.3.2) [表2.3.1] | |
| 39 ⑰ 仮設脚手架その他 | 外部足場※手すり先行足場 内部足場種別※脚立、足場板等・棚脚足場 防音シートによる養生※行う・行わない 材料、撤去材等の運搬 ・A種※B種・C種・D種・E種 (2.2.4) [2.2.1] | |
| 40 ⑱ 養生 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 41 ⑲ 仮設簡易切 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 42 ⑳ 仮設間仕切り等の種別 | 仮設間仕切り等の種別 種別下地仕上材(厚さ mm)充てん材塗装 ・A種・軽量鉄骨合板(※0.0・)厚さ mm※無し ・B種・木地・せっこうボード(※9.5・)・片面 ・C種单管下地防炎シート※無し 仮設扉※木製扉※合板張り程度 ・鋼製扉※片面フラッシュ程度 (2.3.2) [表2.3.1] | |
| 43 ㉑ 既設簡易切 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 44 ㉒ 仮設脚手架その他 | 外部足場※手すり先行足場 内部足場種別※脚立、足場板等・棚脚足場 防音シートによる養生※行う・行わない 材料、撤去材等の運搬 ・A種※B種・C種・D種・E種 (2.2.4) [2.2.1] | |
| 45 ㉓ 養生 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 46 ㉔ 仮設簡易切 | 既存部分の養生※ビニルシート等・ 既存家具等の養生※ビニルシート等・ 固定家具等の移動※行わない ・行う※図示(面番号A-) | |
| 47 ㉕ 仮設間仕切り等の種別 | 仮設間仕切り等の種別 種別下地仕上材(厚さ mm)充てん材塗装 ・A種・軽量鉄骨合板(※0.0・)厚さ mm※無し ・B種・木地・せっこうボード(※9.5・)・片面 ・C種单管下地防炎シート※無し 仮設扉※木製扉※合板張り程度 ・鋼製扉※片面フラッシュ程度 (2.3. | |

| 凡 例 | |
|-----|-------------------|
| | 工事建物を 示す |
| | ガードフェンス を示す |
| | 交通誘導員(延20人程度) を示す |
| | 工事車両進入口 を示す |

*施工条件※
 ・大津市民病院利用者や職員の安全を第一とし細心の注意を払うこと。
 ・旧ケアセンターおおつ様の2階は、託児所として利用しており、改修範囲を通り外部との出入りしている為、細心の注意を払うこと。
 ・改修時はコンーン等で作業範囲を明確にし、施工を行ふこと。
 ・施設利用者の安全確保や事故防止に努めるとともに工事車両の徐行の徹底、資材置場の整理、保管を励行すること。
 ・施設側の予定確認し授業に影響を及ぼさないよう工程を立てること。
 ・騒音作業は、予め予定を監督員及び施設側に連絡し承を得ること。
 ・大型車両の入場時は、交通誘導員を配置し工事車両を誘導すること。



| 訂 | 正 | 訂 | 正 | 訂 | 正 | 訂 | 正 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| • | • | • | • | • | • | • | • |
| • | • | • | • | • | • | • | • |
| • | • | • | • | • | • | • | • |

| FILE No. | 工事名 | 旧ケアセンターおおつ様 | SCALE | A |
|----------|-----|-------------|------------|---|
| | | 配置図 | 1:800 (AI) | |
| | | 現況 1-2階案内図 | 1:200 (AI) | 4 |

■ 内部仕上表

※ クロルビリホスを添加した材料は使用しない。
特記事項: ※ 居室の内装材はF☆☆☆とする(道具、固定家具を含む)。
※ 非階室(天井裏等)の仕上げ・下地材はF☆☆☆以上とする。

※ 国土交通省告示第1113、1114及び1115号で定められた建築材料は使用しないこと。
※ 内壁コーナー出脚部・建具枠・面端部は全てR(面取)加工し危険のない安全なものとすること。
※ 防火上主要な間仕切り壁・耐火構造(上階、スラブまでせしめるごと)

※改修範囲のみの仕上表を示す

| 室名 | 改修 | 内装制限 | 床 | | | 巾木 | | | 腰・壁 | | | 天井 | | | 縦縫 | | 備考 | 室名 |
|-----------|-----|------|--|----------|--|------------------|---------|-------|---|-------------------------------|--|--------------------|----------------|-------|-------------------|-----------------|-------|----|
| | | | 床高 | 下地 仕上 | | 下地 仕上 | 高さ | 塗装 | 下地 仕上 | | 塗装 | 下地 仕上 | 塗装 | 天井高 | 材質 | 形状 | | |
| 玄関ホール | 改修前 | FL±0 | モルタル塗 コテ押え ビニール床シート t2.5 一部 ビニール床シート t2.8 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS W100 | [既存のまま] [既存のまま] [既存のまま] | LGS 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] [既存のまま] | 2,500 3,000 | 塗装 | ミニキッチン、手洗器[既存のまま] | | 玄関ホール | |
| | | | モルタル塗 コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| EVホール | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え タイルカーペット t6.5 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 2,500 | 塗装 | [既存のまま] | EVホール | | |
| | | | モルタル塗 コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 2,500 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 廊下(1)・(2) | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t2.8 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル モザイクタイル 大理石貼 LGS | [既存のまま] [既存のまま] [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 モザイクタイル 大理石貼 強化石膏ボード t15 2枚貼 吹付タイル | [既存のまま] | 2,500 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | 廊下 | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| ラウンジ | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え タイルカーペット t6.5 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | ラウンジ | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 強化石膏ボード t15 2枚貼 吹付タイル | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| 事務室 | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t2.5 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [既存のまま] | 60 | LGS W65 石膏ボード t12.5 ビニールクロス貼 | [既存のまま] [既存のまま] | 石膏ボード t12.5 ビニールクロス貼 | [既存のまま] | 2,500 | 塗装 | [一部撤去] | 事務室 | | |
| | | | 既存のまま | 既存のまま | | | | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 石膏ボード t12.5 (GL工法) ビニールクロス貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| 相談室 | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え タイルカーペット t6.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | 相談室 | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| 保育室 | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え 発泡複層ビニール床シート t6.2 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 100 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | 保育室 | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 発泡複層ビニール床シート t6.2 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t12.5 (GL工法) ビニールクロス貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 談話コーナー(2) | 改修後 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | 談話コーナー(2) | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t6.2 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 100 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t12.5 (GL工法) ビニールクロス貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 乳児室 | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え 発泡複層ビニール床シート t6.2 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | 乳児室 | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 発泡複層ビニール床シート t6.2 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 100 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t12.5 (GL工法) ビニールクロス貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 談話コーナー(3) | 改修後 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | 談話コーナー(3) | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.8 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t12.5 (GL工法) ビニールクロス貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 食堂A | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t2.8 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 2,500 | 塗装 | [既存のまま] | 食堂A 通所者デイルーム | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 3,000 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 食堂 | 改修後 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | 食堂 | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.8 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(平) t9.0 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| 看護中継所 | 改修前 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t2.8 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [撤去] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t15 石膏ボード t9.5 捨貼 | [既存のまま] | 2,500 | 塗装 | [既存のまま] | 看護中継所 | | |
| | | | 土間コンクリート 金コテ押え ビニール床シート t2.8 | [既存のまま] | | ビニール巾木 | [新設] | 既存のまま | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t12.5 (GL工法) 吹付タイル | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | | | |
| 食堂 | 改修後 | FL±0 | 土間コンクリート 金コテ押え 長尺床シート t2.5 | [既存のまま] | | ソフト巾木 | [新設] | 60 | コンクリート打放し補修 吹付タイル LGS | [既存のまま] | 岩縫吸音板(リフ) t12.5 吹付タイル | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | 食堂 | | |
| | | | 土間コンクリート モルタル塗 コテ押え 塗床仕上 | [一部撤去] | | 三類 100角タイル貼 | [撤去] | 200 | モルタル塗 III類 100角タイル貼 CB種 W100 モルタル塗 | [既存のまま] [既存のまま] | ケイ酸カルシウム板 t6.0 VP塗 | [既存のまま] | 2,500 | 塗装 | [既存のまま] | | | |
| 配膳室A | 改修前 | FL±0 | 火気使用室 | | | 三類 100角タイル貼 | [撤去] | 200 | LGS W65 耐水合板 t12.5 モルタル塗 | [既存のまま] | 三類 100角タイル貼 | [既存のまま] | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | 配膳室A | | |
| | | | 火気使用室 | [新設] | | 防滑長尺床シート t2.5 卷上 | [新設] | 200 | LGS W65 | [新設] | 耐水合板 t12.5 | | | | | | | |



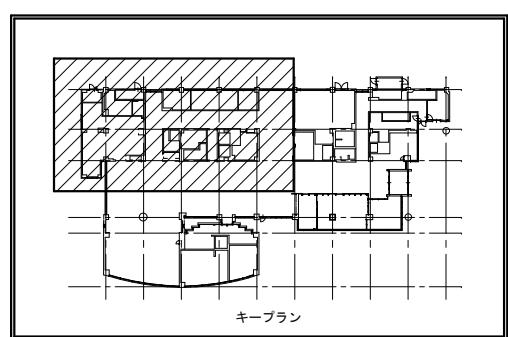
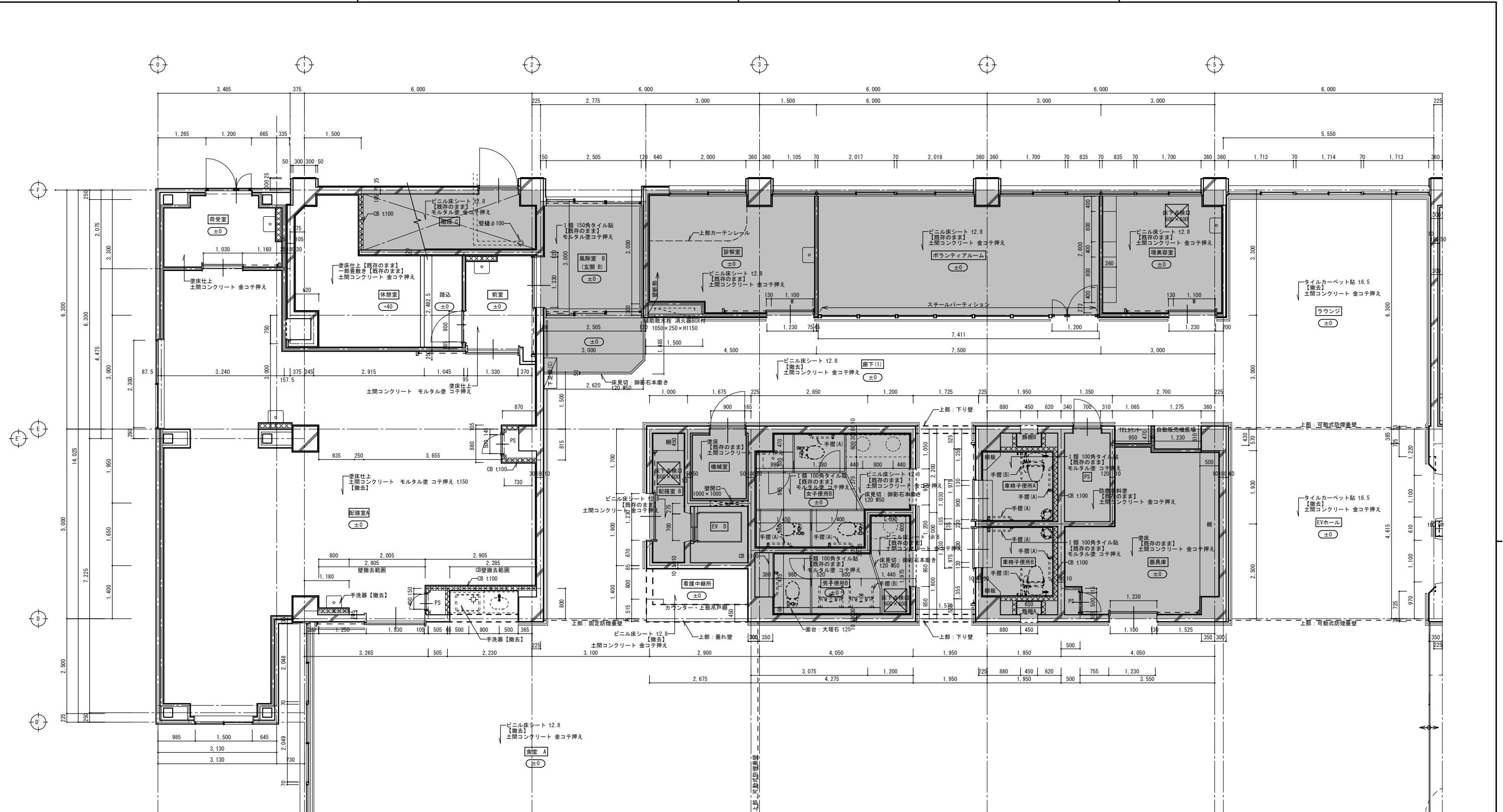
| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

現況 1階平面図 1:100

改修範囲外を示す

旧ケアセンターおおつ株改修工事

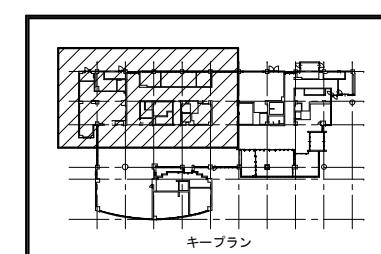
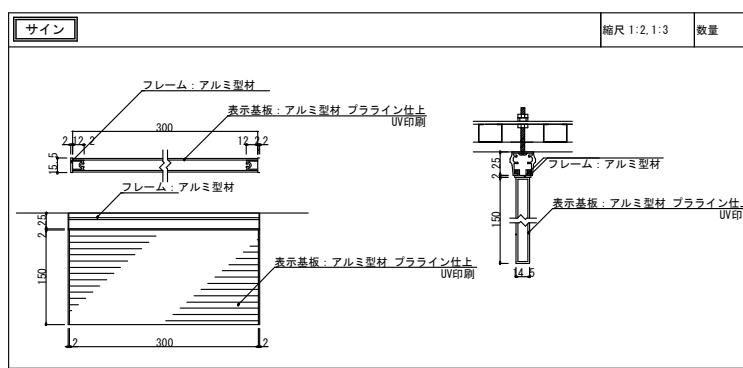
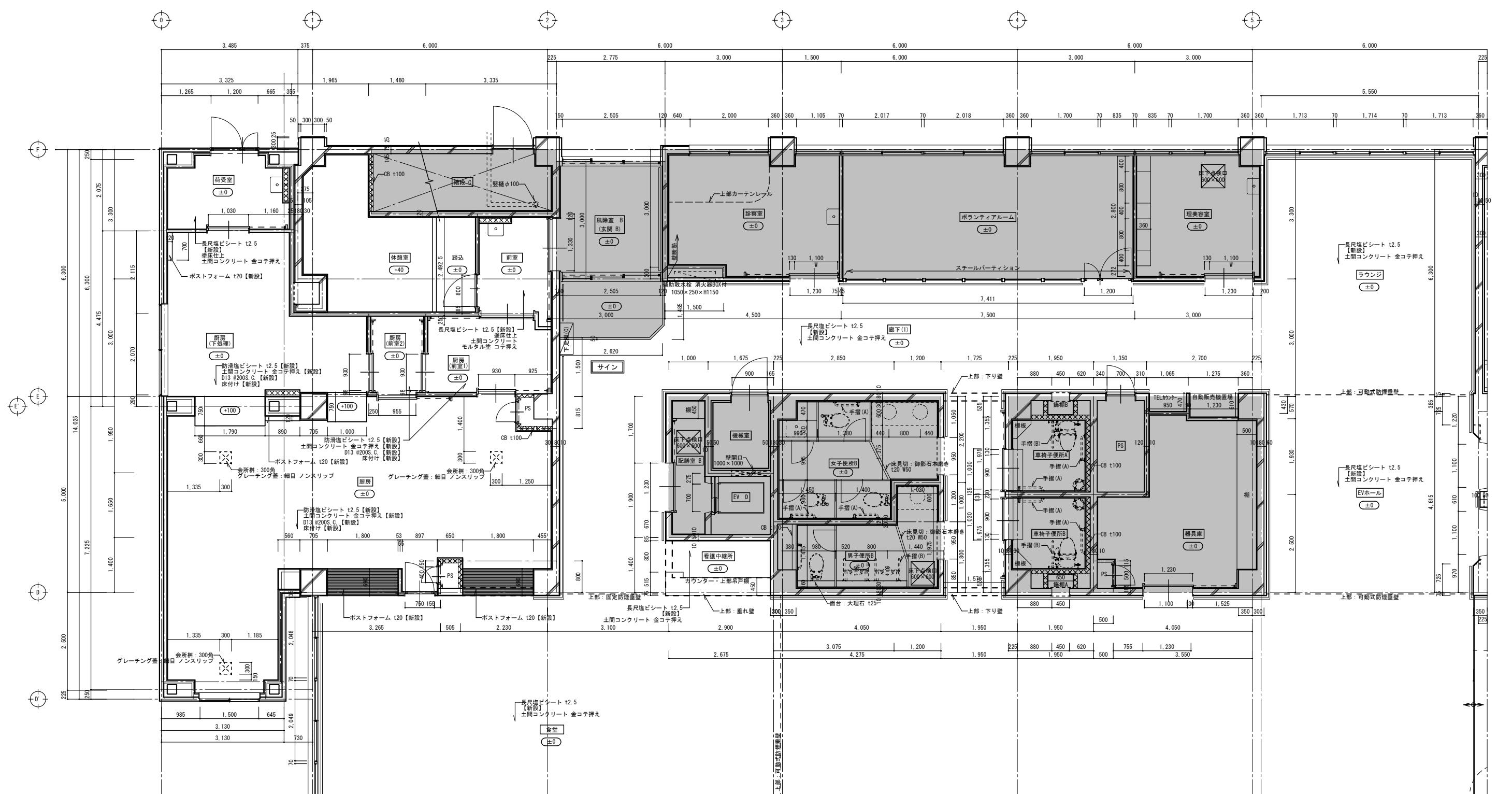
| SCALE | A |
|------------|-------|
| 1:100 (A1) | No. 6 |



現況 平面詳細図-1 1:50

| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
|-----|-----|-----|-----|
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

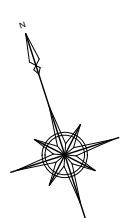
| FILE No. | 工事名 | 旧ケアセンターおおつ株式会社 | SCALE | A |
|----------|----------|----------------|-------|---|
| 現況 平面詳細図 | 1:50(A1) | No. 7 | | |

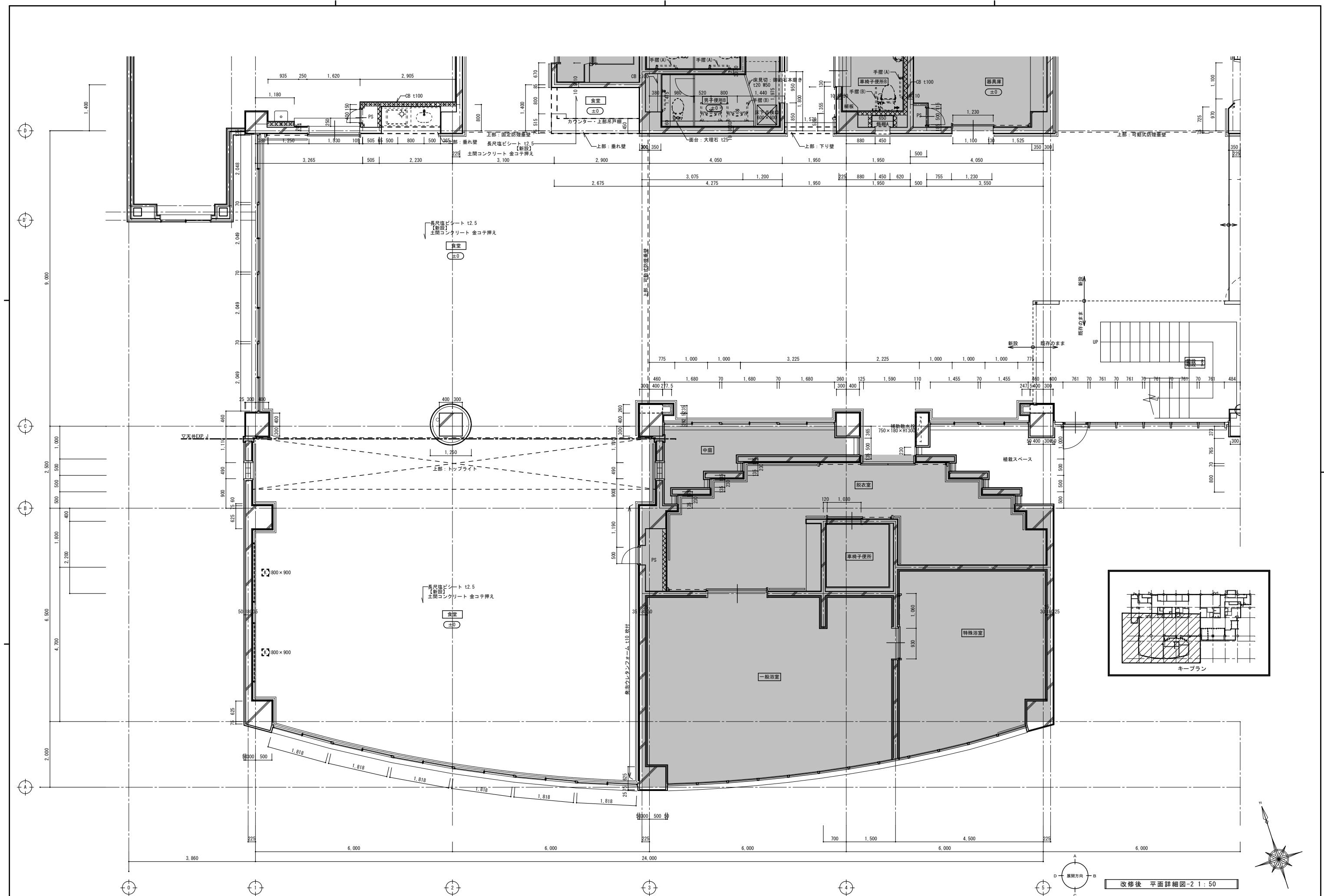


改修後 平面詳細図-1 1:50

| 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

| FILE No. | 工事名 | 旧ケアセンターおおつ株改修工事 | SCALE | A |
|----------|-----|-----------------|-----------|-------|
| | | 改修後 平面詳細図-1 | 1:50 (A1) | No. 8 |
| | | | | |





| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 |
| . | . | . | . | . | . |
| . | . | . | . | . | . |
| . | . | . | . | . | . |

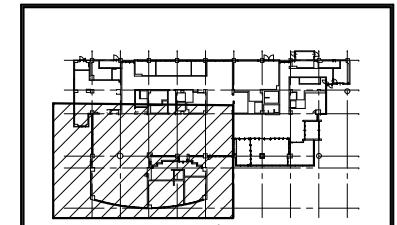
2

3

4

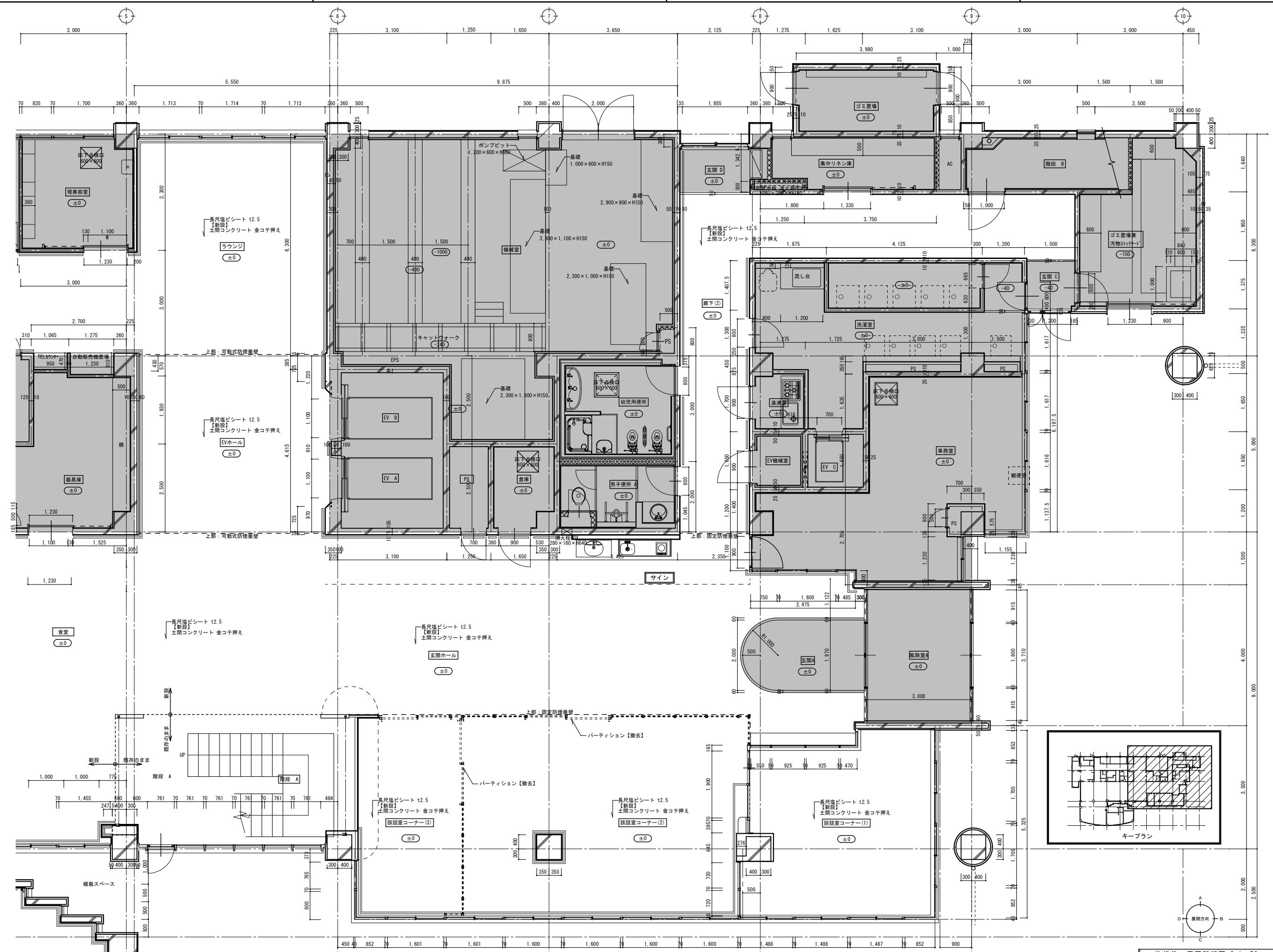
5

| | | | | |
|----------|-----|-----------------|-----------|-------|
| FILE No. | 工事名 | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | SCALE | A |
| | | | 1:50 (AI) | No. 9 |



改修後 平面詳細図-2 1:50



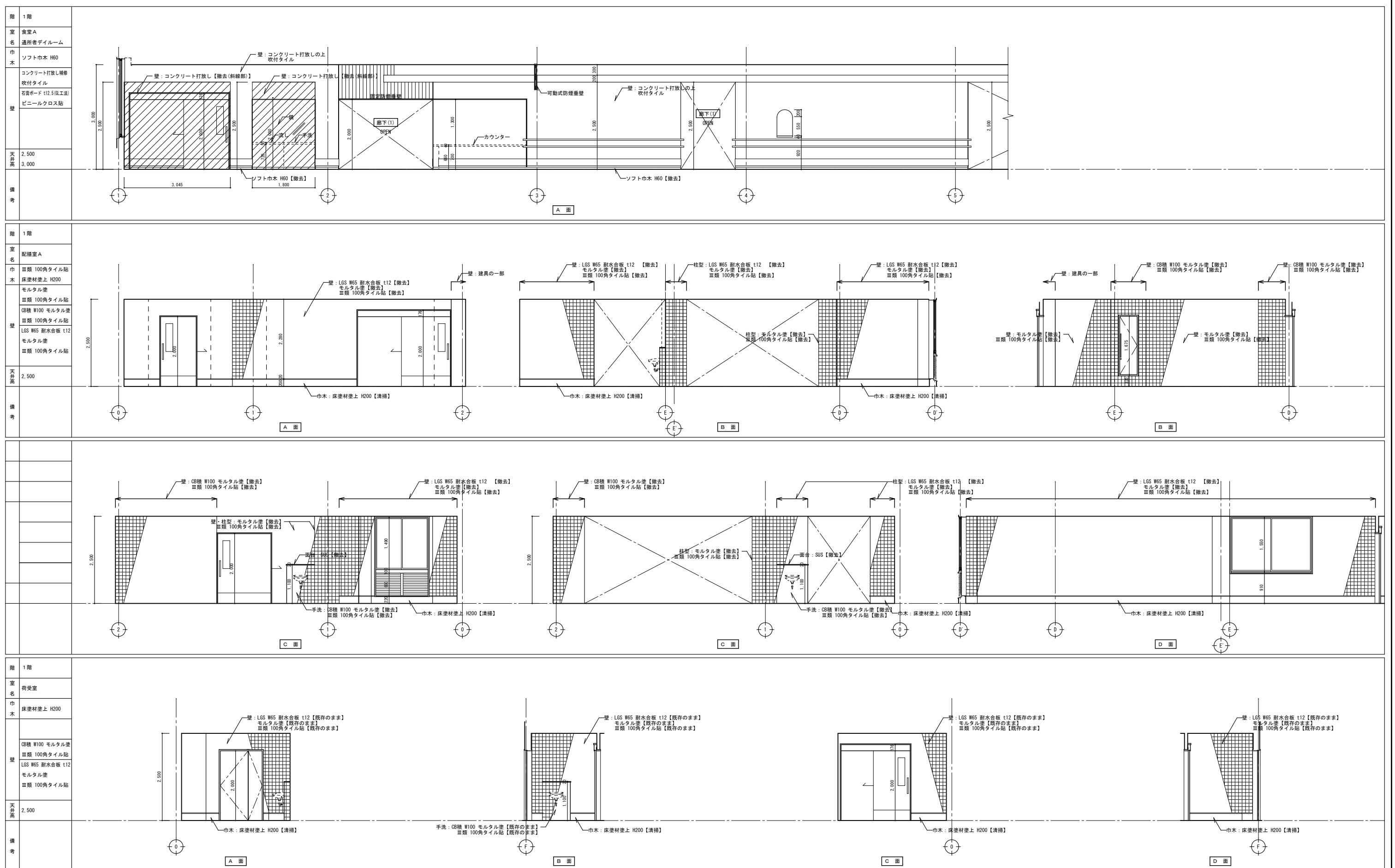


改修後 平面詳細図-3 1:50

| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
|-----|-----|-----|-----|
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ |

| FILE No. | 工事名 | SCALE | A |
|----------|----------------|-----------|--------|
| | 旧ケアセンターおおつ改修工事 | 1:50 (A1) | No. 10 |

| 旧ケアセンターおおつ様 | 改修後 平面詳細図-3 | SCALE | A |
|-------------|-------------|-----------|--------|
| | | 1:50 (A1) | No. 10 |



The figure consists of four vertical panels, each representing a different floor level (1st, 2nd, 3rd, and 4th) of a building. Each panel contains architectural drawings of specific rooms or sections, with detailed dimensions and material specifications.

- 1st Floor (1階):** Shows a room with a counter and a sink area. Material specifications include concrete walls, soft wood H60, gypsum board t12.5 (GL工法), and vinyl cross tape. Dimensions: height 3,000, width 3,000, depth 2,500.
- 2nd Floor (2階):** Shows a kitchen area with LGS W65 waterproof board t12.5, vinyl cross tape t8.0, and vinyl film t2.5 H200. Dimensions: height 2,500, width 2,500, depth 2,500.
- 3rd Floor (3階):** Shows a room with a door labeled 'OPEN' and a window. Material specifications include LGS W65 waterproof board t12.5, vinyl cross tape t8.0, and vinyl film t2.5 H200. Dimensions: height 2,500, width 2,500, depth 2,500.
- 4th Floor (4階):** Shows a room with a door labeled 'OPEN' and a window. Material specifications include LGS W65 waterproof board t12.5, vinyl cross tape t8.0, and vinyl film t2.5 H200. Dimensions: height 2,500, width 2,500, depth 2,500.

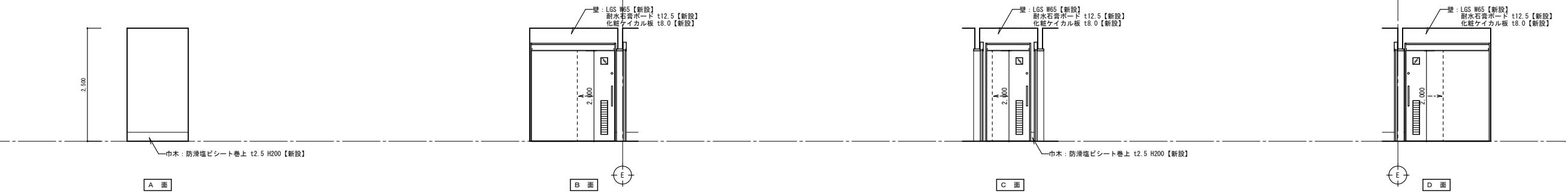
Each panel includes a legend at the bottom indicating symbols for A面 (Front View), B面 (Side View), C面 (Cross Section), and D面 (Detail View). The drawings show various views of walls, doors, windows, and furniture, with specific dimensions like 2,000, 1,500, 1,000, etc., and material thicknesses like t12.5, t8.0, t2.5 H200.

| | | | | | | | | | |
|--------|---|---|--|---|---|--|---|---|--|
| 訂 正 | 月 | 日 | | 月 | 日 | | 月 | 日 | |
| | - | | | - | | | - | | |
| | - | | | - | | | - | | |

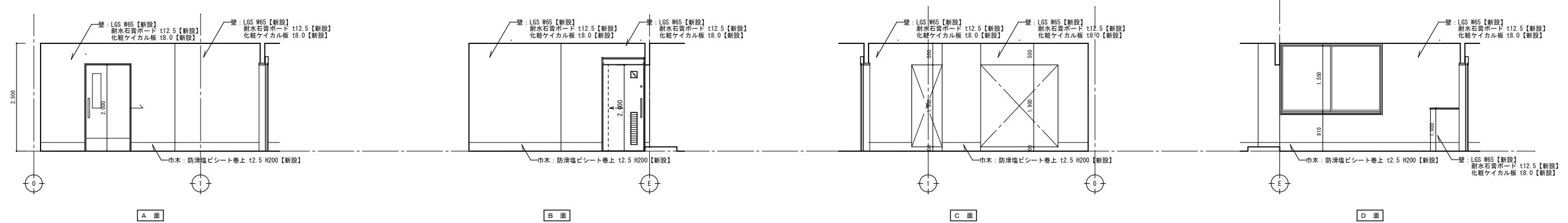
名 旧ケアセンターおおつ棟改修工事

| | | |
|--------------------------|--------------------|----------------|
| 旧ケアセンターおおつ様 改修後 展開図-1 | SCALE 1:50 (A1) | A No. 12 |
| | | |
| | | |

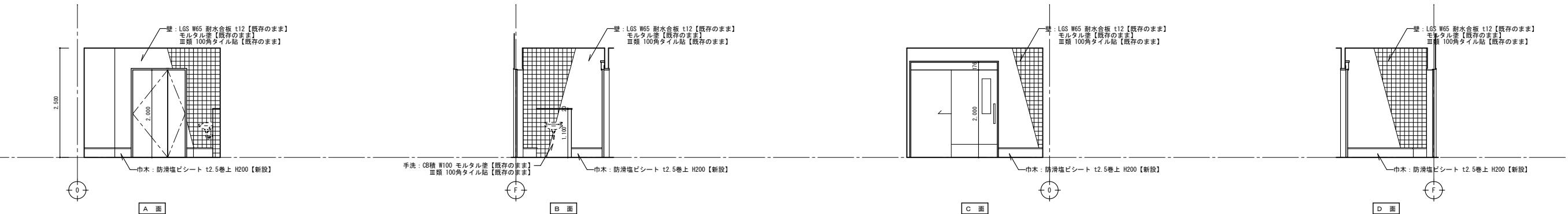
| | |
|-----|---------------------------------|
| 階 | 1階 |
| 室名 | 厨房(前室2) |
| 巾木 | 防滑塗ビシート t2 巻上 H200 |
| 壁 | LGS W65 耐水合板 t11 化粧ケイカル板 t8. |
| 天井高 | 2,500 |
| 備考 | |



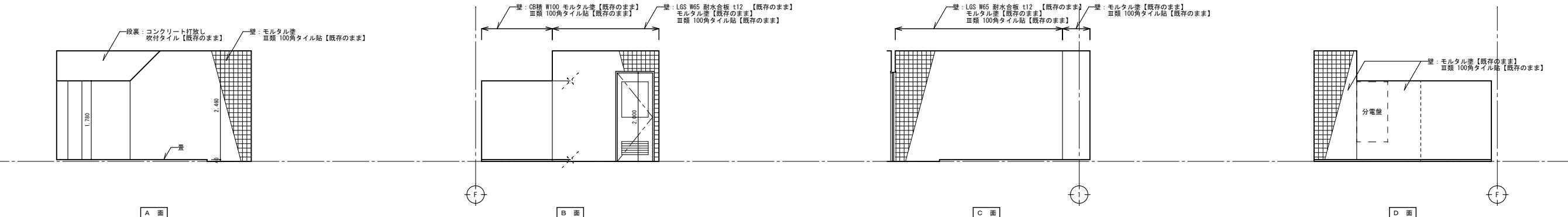
| | |
|-----|---------------------------------|
| 階 | 1階 |
| 室名 | 厨房(前室2) |
| 巾木 | 防滑性ビシート t2. 巻上 H200 |
| 壁 | LGS W65 耐水合板 t1: 化粧ケイカル板 t8. |
| 天井高 | 2,500 |
| 備考 | |

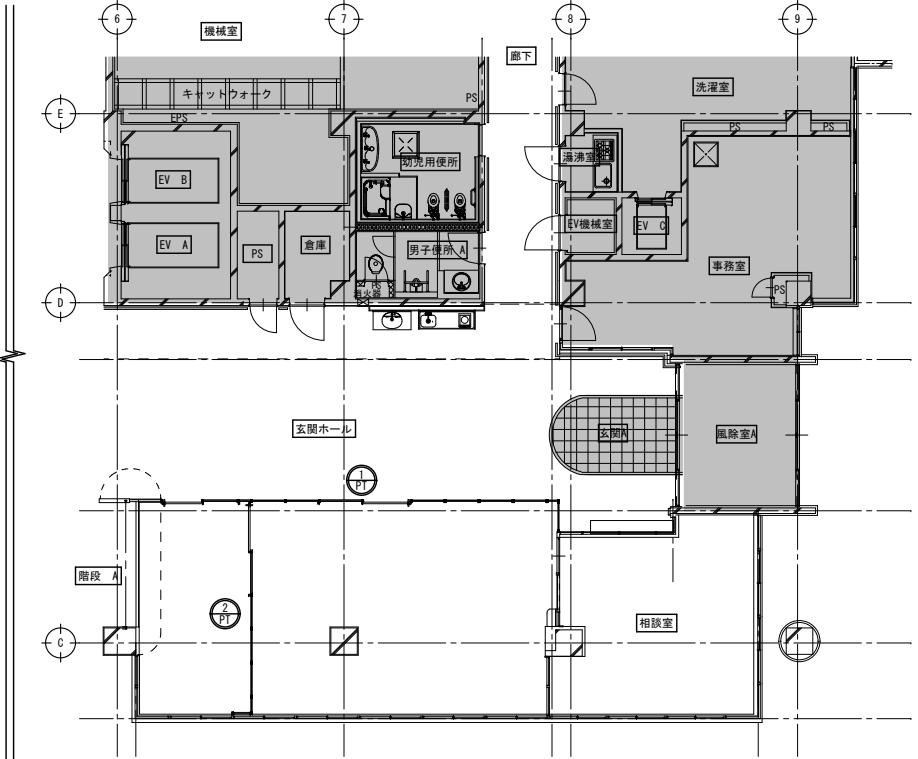
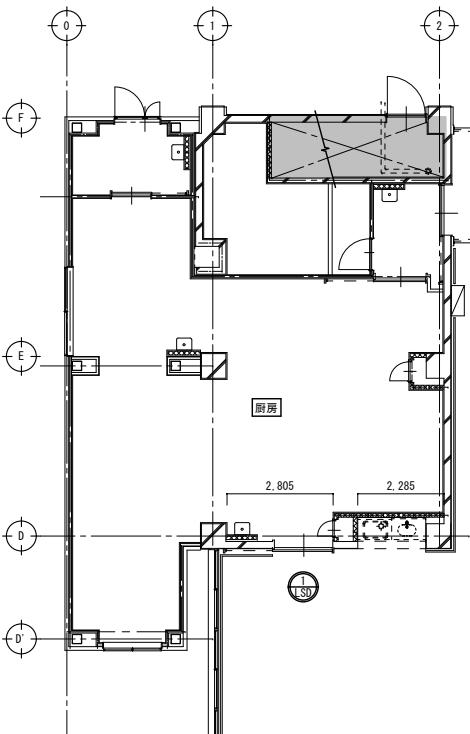


| | |
|-----|--|
| 階 | 1階 |
| 室名 | 荷受室 |
| 巾木 | 床塗材塗上 H200 |
| 壁 | OB積 W100 モルタル貼 Ⅲ類 100角タイル貼 LGS W65 耐水合板 t1 モルタル塗 Ⅲ類 100角タイル貼 |
| 天井高 | 2,500 |
| 備考 | |

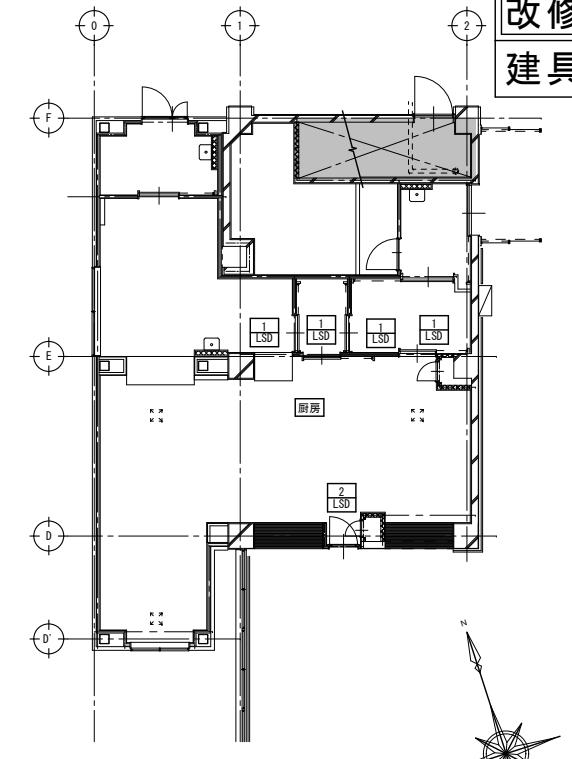


| | |
|-----|--|
| 階 | 1階 |
| 室名 | 休憩室 |
| 中木 | Ⅲ類 100角タイル貼 |
| 壁 | モルタル塗 Ⅲ類 100角タイル貼 OB積 W100 モルタル塗 Ⅲ類 100角タイル貼 LGS W65 耐水合板 T1 モルタル塗 Ⅲ類 100角タイル貼 |
| 天井高 | ~2,500 |
| 備考 | |

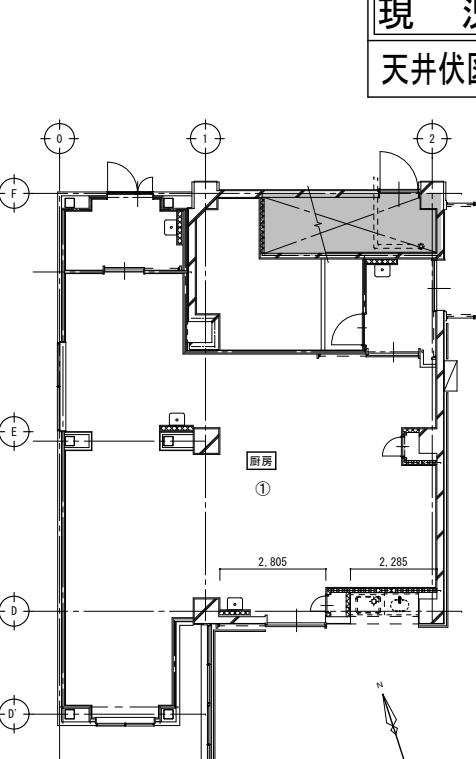




現況
建具図



改修後
建具図



現況
天井伏図

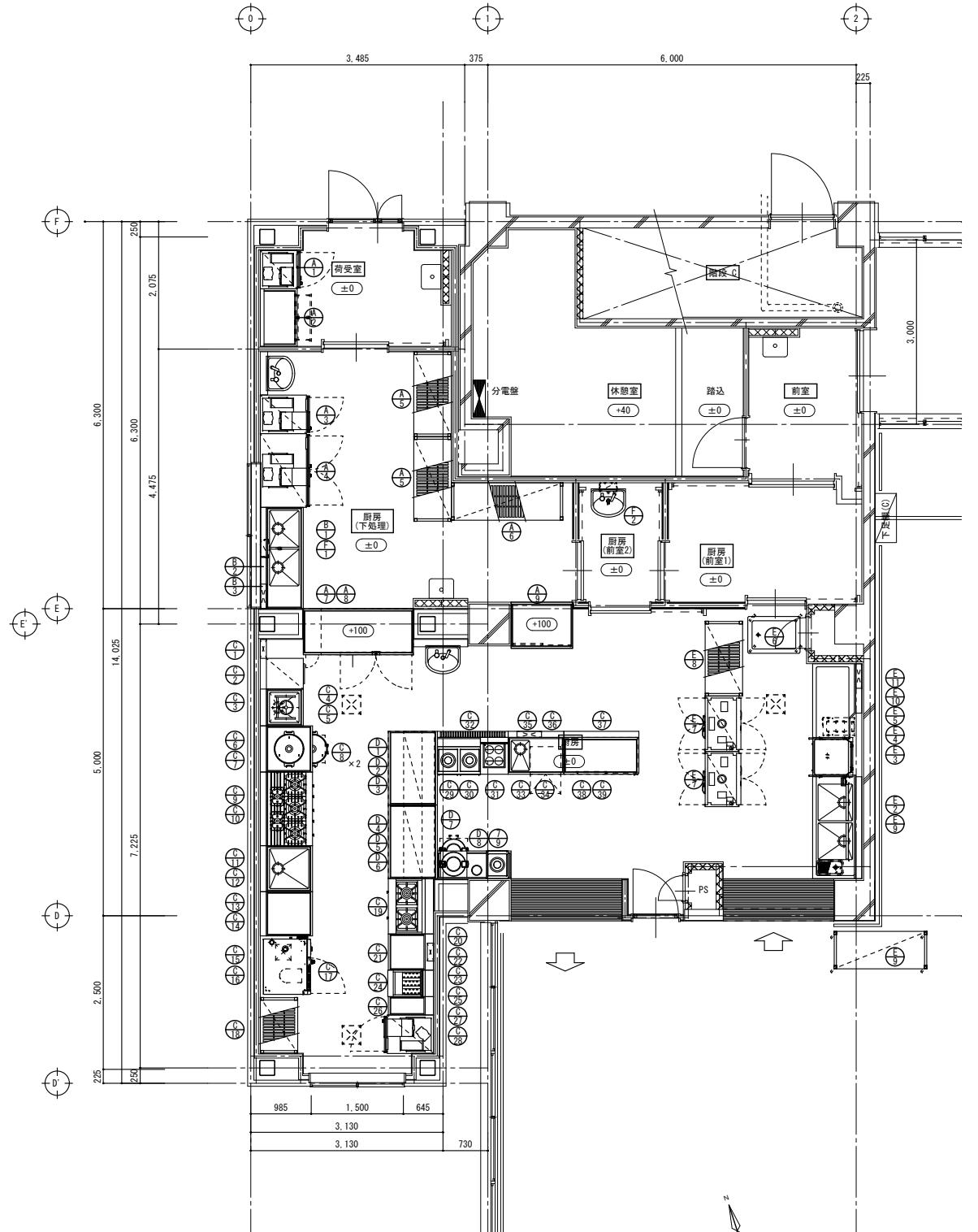
| 符号・名称 | | LSD 軽量スチール製 片引き戸【撤去】 | PT アルミ製 パーティション【撤去】 |
|-------|-----|---------------------------|---------------------|
| 姿図 | | | |
| 室名 | 数量 | 食堂A | 1 |
| 仕上 | 塗装 | 亜鉛メッキ鋼板 | 焼付塗装 |
| 金物 | | 亜鉛メッキ鋼板 | 焼付塗装 |
| 硝子 | 見込 | 標準附属品 | |
| 音響 | ガラリ | 強化型板ガラス t4.0 強化透明ガラス t5.0 | 50 |
| 備考 | | 傾斜自閉式扉 | |
| 符号・名称 | | PT アルミ製 パーティション【撤去】 | |
| 姿図 | | | |
| 室名 | 数量 | 玄関ホール | 1 |
| 仕上 | 塗装 | 亜鉛メッキ鋼板 | 焼付塗装 |
| 金物 | | 標準附属品 | |
| 硝子 | 見込 | 強化型板ガラス t4.0 強化透明ガラス t5.0 | 50 |
| 音響 | ガラリ | ガラリ | |
| 備考 | | 傾斜自閉式扉 | |
| 符号・名称 | | LSD 軽量スチール製 片引き戸【新設】 | |
| 姿図 | | | |
| 室名 | 数量 | 乳児室 | 1 |
| 仕上 | 塗装 | 亜鉛メッキ鋼板 | 焼付塗装 |
| 金物 | | 標準附属品 | |
| 硝子 | 見込 | 強化型板ガラス t4.0 強化透明ガラス t5.0 | 50 |
| 音響 | ガラリ | ガラリ | |
| 備考 | | 傾斜自閉式扉 | |

| 符号・名称 | | LSD 軽量スチール製 片引き戸【新設】 | |
|-------|-----|---|------|
| 姿図 | | | |
| 室名 | 数量 | 厨房 | 4 |
| 仕上 | 塗装 | 一 | 焼付塗装 |
| 金物 | | 自閉式上吊引戸装置、引棒、レール、表面鍍金、戸旨り、防振ゴム、非常部設、ステール製三方枠、付属金物一式 | |
| 硝子 | 見込 | FL t4.0 | 150 |
| 音響 | ガラリ | SS-II | — |
| 備考 | | | |
| 符号・名称 | | LSD 軽量スチール製 片開き扉【新設】 | |
| 姿図 | | | |
| 室名 | 数量 | 厨房 | 1 |
| 仕上 | 塗装 | 一 | 焼付塗装 |
| 金物 | | ヒンジ、レバーハンドル(厨房側のみ)、ドアクローザー、戸当たり | |
| 硝子 | 見込 | F t4.0 | 150 |
| 音響 | ガラリ | SS-II | — |
| 備考 | | | |

| 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 訂 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | | | | | |

| FILE No. | 工事名 | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | | |
|----------|-----|-----------------|-----------------|----------|
| | | 現況 建具配置図 建具リスト | 改修後 建具配置図 建具リスト | 改修後 天井伏図 |

| 旧ケアセンターおおつ棟 | SCALE | A |
|-----------------|--------------|-----|
| 現況 建具配置図 建具リスト | 1:50-100(A1) | No. |
| 改修後 建具配置図 建具リスト | 1:50-100(A1) | 15 |
| 現況 改修後 天井伏図 | 1:100(A1) | |



厨房機器配置図 1:50

排水樹 (機械設備工事)

| No. | 品名 | 形 式 | 仕 様 | 台 数 | 寸 法 (mm) | | | 配 管 口 径 (A) | | 給水 給湯 | | 冷却水 排水 | | クーリングタワ(管) 市ガス | | 電気 (60Hz, kW) | | フード |
|-------------------------|----------------------|---|---|-------|----------|-----|--------|-------------|------|-------|------|--------|---|----------------|----------------------|---------------|--------|------|
| | | | | | W | D | H | IN | OUT | A | A | L/min | A | kW | 単相100V 単相200V 三相200V | | | |
| ■厨房機器リスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1- < 保存 > | 1 業用冷凍庫 | HF-63CAT-KS2(特) | 定格内容積: 384L ガゼット 多層クリアコート | 1 | 625 | 650 | 1970 | | | φ26 | 40 | | | | | | 0.37 | |
| 2 | 引出付ワゴンテーブル | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | (935) | 600 | 850 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 冷蔵庫 | HF-63A3-1(特) | 定格内容積: 493L インバーター 多層クリアコート | 1 | 625 | 800 | 1970 | | | φ26 | 40 | | | | | | 0.37 | |
| 4 | 冷蔵庫 | HR-120A3-1(特) | 定格内容積: 1049L インバーター 多層クリアコート | 1 | 1200 | 800 | 1970 | | | φ30 | 40 | | | | | | 0.28 | |
| 5 | カムシェルビング | ESU245472V4 | ベンチ型 4段 | 2 | 1380 | 610 | 1830 | | | | | | | | | | | |
| 6 | カムシェルビング (エレメンツシリーズ) | ESU245472V4 | ベンチ型 4段 | 1 | 1820 | 610 | 1830 | | | | | | | | | | | |
| 7 | キャビネットテーブル | TOPsus t1.2mm 内張/扉タイコ貼り ドライ仕様 フランジ脚 | 1 | 1790 | 750 | 800 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | テーブル形冷蔵庫 | RT-180SDG-1-ML | 定格内容積: 438L インバーター ワイドスルー | 1 | 1800 | 750 | 800 | | | φ30 | 40 | | | | | | 0.331 | |
| 9 | キャビネットテーブル | TOPsus t1.2mm 内張/扉タイコ貼り ハンドル無し構造 ドライ仕様 | 1 | 1000 | 750 | 800 | | | | | | | | | | | | |
| B- < 下調理 > | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 二槽水切りシンク | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS304製 ドライ仕様 | 1 | 1650 | 600 | 850 | 15×2 | 15×2 | 40×2 | 50×3 | | | | | | | | |
| 2 | スフレッダー | | | 1 | 1650 | 100 | 200 | | | | | | | | | | | |
| 3 | PSカバー | | | 1 | 400 | 100 | (1500) | | | | | | | | | | | |
| C- < 主調理 > | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | PSカバー | | | 1 | (308) | 100 | (2500) | | | | | | | | | | | 0.03 |
| 2 | サイロ | FRB0560 | | 1 | 500 | 600 | 1150 | | | | | | | | | | | |
| 3 | スフレッダー | | | 1 | 600 | 100 | 200 | | | | | | | | | | | |
| 4 | 一槽シンク | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | 600 | 600 | 850 | 15 | 15 | 40 | 50 | | | | | | | | |
| 5 | 洗米機 | MP-30型 | | 1 | 380 | 330 | 570 | 15 | | | | | | | | | | |
| 6 | スフレッダー | | | 1 | 750 | 100 | 200 | | | | | | | | | | | |
| 7 | 炊飯台車付ワゴンテーブル | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | 750 | 750 | 850 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | ガス炊飯器 | RR-550C | 5.5升炊き | 2 | 569 | 485 | 447 | | | | | | | | | φ13×2 | 11.0×2 | 要 |
| 9 | スフレッダー | | | 1 | 1200 | 100 | 200 | | | | | | | | | 25 | 61.0 | GF |
| 10 | ガステーブル | RGT-1275D(特) | | 1 | 750 | 100 | 200 | | | | | | | | | | | |
| 11 | スフレッダー | | | 1 | 750 | 750 | 850 | 15 | 15 | 40 | 50 | | | | | | | |
| 12 | 一槽シンク | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | 750 | 750 | 850 | 15 | 15 | 40 | 50 | | | | | | | | |
| 13 | スフレッダー | | | 1 | (720) | 100 | 200 | | | | | | | | | 20 | 29.1 | GF |
| 14 | ワゴンテーブル | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | (720) | 750 | 850 | | | | | | | | | | | | |
| 15 | スチームコンベクションオーブン | MIC-10HSC3-L | IH蒸気発生方式・スチーム立ち上がり時間: 30秒 | 1 | 900 | 770 | 1070 | 1070 | 1070 | φ38 | 50管管 | | | | | 18.5 | GF | |
| 16 | ステコン台 | MKH-03B | | 1 | 900 | 720 | 600 | | | | | | | | | | 0.006 | |
| 17 | 軟水機 | | | 1 | 225 | 360 | 460 | 15バルブ | | 13×2 | 40 | | | | | | | |
| 18 | カムシェルビング | ESU243672V4 | ベンチ型 4段 | 1 | 910 | 610 | 1830 | | | | | | | | | | | |
| 19 | スープレンジ | RGS-096D | | 1 | 900 | 600 | 450 | 15×2 | | | | | | | | | | |
| 20 | スフレッダー | | | 1 | 900 | 135 | 200 | | | | | | | | | 20 | 29.1 | GF |
| 21 | ワゴンテーブル | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | (580) | 600 | 850 | | | | | | | | | | | | |
| 22 | スフレッダー | | | 1 | (580) | 135 | 200 | | | | | | | | | | | |
| 23 | PSカバー | | | 1 | (290) | 100 | (1500) | | | | | | | | | | | |
| 24 | 涼厨ガスフライヤー | MGF-C18K(特) | 油量18L | 1 | 430 | 610 | 900 | | | | | | | | | 15 | 8.72 | GF |
| 25 | スフレッダー | | | 1 | 430 | 135 | 300 | | | | | | | | | | | |
| 26 | ワゴンテーブル | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | 300 | 600 | 650 | | | | | | | | | | | | |
| 27 | スフレッダー | | | 1 | 300 | 135 | 200 | | | | | | | | | | | |
| 28 | 冷冻冷蔵庫 | HRF-63A-1(特) | 定格内容積: 441L (冷蔵室314L、冷冻室127L) インバーター 多層クリアコート | 1 | 625 | 800 | 1970 | | | φ30 | 40 | | | | | 0.414 | | |
| 29 | 電磁調理器 | HIIH-22CE-1 | どら火(低火力) 調節搭載 | 1 | 700 | 450 | 150 | | | | | | | | | 2.5×2 | | GF |
| 30 | ローラン用架台 | | | 1 | 700 | 600 | 300 | | | | | | | | | | | |
| 31 | 涼厨角槽付腰機 | MRY-004(特) | 耐火ボード t=5.0mm フランジ脚 | 1 | 450 | 600 | 850 | 15 | | 25 | 40耐熱 | | | | | 15 | 13.4 | 要 |
| 32 | 防熱板 | | | 1 | 1150 | 100 | 1000 | | | | | | | | | | | |
| 33 | 一槽テーブル付シンク | TOPsus t1.2mm スノコ脚式・補強枠(上枠) SUS製 ドライ仕様 | 1 | 910 | 600 | 850 | 15 | 15 | 40 | 50 | | | | | | | | |
| 34 | キューピースメーカー | IM-35M-2 | 最大ストック量 約18kg (自然落下時 約10.5kg) | 1 | 500 | 450 | 800 | 15バルブ | | 20 | 40 | | | | | | | 0.21 |
| 35 | PSカバー | | | 1 | 400 | 100 | (1500) | | | | | | | | | | | |
| 36 | 防熱板 | | | 1 | 910 | 100 | 1000 | | | | | | | | | | | |
| 37 | 防熱板 | | | 1 | 1220 | 100 | 1000 | | | | | | | | | | | |
| 38 | テーブル形冷蔵ショーケース | RTS-120SND(特) | 冷蔵内容積: 305L | 1</ | | | | | | | | | | | | | | |

電気設備工事特記仕様書

工 事 概 要

| 1. 工事名稱 | 旧ケアセンターおおつ株改修工事 | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 2. 工事場所 | 滋賀県大津市本宮二丁目9-9 | | | |
| 3. 建物概要 | | | | |
| 建物名稱 | 構造 | 階数 | 延床面積(㎡) | 備考 |
| 旧ケアセンターおおつ株 | R C 造 | 4 | 4,356.20 | 1階改修面積: 947.93m ² |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 4. 工事種目 (●印を適用し、各一式とする) | | | | |
| 種目 | 建物名稱 | 工事種別 | | |
| | | 旧ケアセンターおおつ株 | | |
| 受変電設備 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自家発電設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 幹線設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 動力設備 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 電灯設備 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 避雷設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 括声設備 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 電気時計設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| インターホン設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| トイレ呼出設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| テレビ共同受信設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 電話・電話用配管設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 情報・情報用配管設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 火災報知設備 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ガス漏れ警報設備 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 防火・防煙・排煙設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 非常警報設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 警備用配管設備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

| | | | | |
|---|----------------------------|---|--|--|
| II 工事仕様 | | | | |
| 1. 共通事項 | | | | |
| (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官公署総務部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)及び公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(以上最新年度版)、電気設備工事監理指針(最新年度版)、社団法人日本電気協会発行「内規規程」及び「高圧受電設備規程」、大津市建築課電気設備係作成「電気設備工事施工監理チェック表」及び「盤類製作基準」、「工事関係書類一覧表」、「工事関係提出書類作成手引き」による。 | | | | |
| (2) 本事業は、大津市契約規範、建設業法、電気事業法、電気設備技術基準、電気通信事業法、有線テレビジョン法、消防法、建築基準法及び労働安全衛生法、並びにこれらの方関係諸法令を守り施工する。 | | | | |
| (3) 工事写真は総務部監修「総務部工事写真撮影要領(H28)」による工事写真撮影ガイドブック(電気設備工事編)平成30年版による。 | | | | |
| (4) 工事中は、危険防止、火災防止などの為、関係法令に従い常に遺漏のないよう万全の方策を講ずる。 | | | | |
| (5) シンナー等危険物については、工事現場に設置することなく保管管理を厳重に行い、盗難を防止するとともに、保管数量についても作業前、作業終了後確認等確実な管理を行うこと。 | | | | |
| (6) 機材は、原則使用機材等指定表による。但し、監督職員の承諾を受けければ、この限りではない。 | | | | |
| 規格品はJIS又はJEM等により、規格制定のないものは製作図又は見本により施工前に監督職員の承諾を受ける。 | | | | |
| (7) 設計図書は工事の大要を示すものであり、現場着手前に施工図等を提出し、監督職員の承諾を受けること。尚、設計図書に明記なき事項で技術上、保安上、当然必要と認められるもの並びに現場の納まり上必要な軽微な変更は、監督職員と協議の上施工する。この場合、原則として事費の増は行わない。 | | | | |
| (8) 竣工後速やかに竣工図等を作成し、監督職員の捺印を得た後、製本を作成する。部数については監督職員の指示とする。 | | | | |
| (9) 市立市民病院の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について(「不当介入に関する通報制度」の徹底) | | | | |
| (① 受注者は、暴力団員等(暴力団の構成員および暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。)による不当介入(不当な要求または業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があつた時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をうむものとする。 | | | | |
| (② 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、受注者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。 | | | | |
| (③ 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 | | | | |
| 項目及び特記事項は、●印のついたものを本工事に適用する。但し、●印のない場合は、※印を適用する。 | | | | |
| 項目 | 項目 | 特記事項 | | |
| 般 共 通 事 項 | ●申請手続 | 本工事に必要な関係府庁、所轄消防署、電力会社等への申請手続は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 ※電力会社の工事費負担金(※無 ○有) ※構内既存の施設が利用できる ○受注者が引込み料金を負担する。 | | |
| | ●工事用電力・水 | 構内につくることができる ○できない | | |
| | ○工事用仮設建物 | ※構内指示の場所に敷きならし ○構外搬出適切処理 ○指定処理() | | |
| | ○残土処分 | 設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版(財団法人日本建築センター発行)による。 ○耐震クラスS ○耐震クラスA ○耐震クラスB | | |
| | ○耐震施工 | 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴は、原則としてダイヤモンドカッターによる。なお旧は、モルタル補修とする。 | | |
| | ○他工事との取合い | ※軸体部はり貫通箇所等は、鉄筋探査を行い既設筋を切断・損傷しない様に施工する事。原則として電線による色別とし、ケーブルの場合は端末にて色別を施す。 | | |
| | ○はつきり | 既存の配管表面による。 | | |
| | ●電線・ケーブル類 | 特記なき電線・ケーブルについては、環境対策型を使用のこと。 | | |
| | ●呼び線 | 長さ1m以上の空き間に呼線として、1.6m/m以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 | | |
| | ●配管類塗装 | 配線室外で露出配管及び配管支持材は取付前に下地処理の上、指定色塗装(2回)を行う。 | | |
| ●配管支持材 | 屋外に使用する配管支持材はステンレス製とする。 | | | |
| ●発生材の処理 | 引渡しを要するもの ※なし ○あり() | | | |
| 受注者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い適確に実施することとし、監督職員に報告すること。また、資源の有効な利用の促進に関する法律及び建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律により、『建設副産物情報交換システム(COBRISS)』にて再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成し提出すること。 | | | | |

| 種目 | 項目 | 特記事項 |
|------------------------------|--|---|
| 般 共 通 事 項 | ● 主任技術者 監理技術者 | <p>専任の期間は現場施工に着手する日から契約工期満了までとする。</p> <p>現場施工に着手する日は、</p> <p>○ 請負契約の締結の日の翌開局日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。</p> <p>● 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打ち合わせにおいて定める。</p> <p>ただし、工事請負契約（以下「請負契約書」という）第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約工期満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が請負契約書第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日（請負契約書第31条第6項に該当するものも含む）とする。</p> <p>又、日程の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期満了後の監理技術者等の工事現場への専任は要しない。</p> |
| ● 特例監理技術者及び監理技術者補佐 | ● 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者の配置は認めない。 | |
| | ● 1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の[1]～[8]の要件を全て満たさなければならない。 | |
| | [1] 建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 | |
| | [2] 監理技術者補佐は、一級施工管理技士又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 | |
| | [3] 監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 | |
| | [4] 同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一體性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これらの複数の工事を一の工事とみなす。） | |
| | [5] 特例監理技術者が兼務できる工事は大津市内の工事でなければならぬ。 | |
| | [6] 特例監理技術者は、施工における重要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 | |
| | [7] 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 | |
| | [8] 監理技術者補佐が扱う業務等について、明らかにすること。 | |
| | 2. 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項[1]～[8]の事項について確認できる書類を下記により提出すること。 | |
| | [1] 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者などの合格証など） | |
| | [2] [1] の提出書類と同じ | |
| | [3] 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（3か月以上の雇用關係を証明できる健康保険被保険者証の写しなど） | |
| | [4] 特例監理技術者が兼務する工事のC O R I N S の写し等 | |
| | [5] [4] の提出書類と同じ | |
| | [6] 業務分担、連絡体制等を記載した書類（施工計画書など） | |
| | [7] [6] の提出書類と同じ | |
| | [8] [6] の提出書類と同じ | |
| | 3. 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行なう場合又は配置を要なくなった場合は適切にC O R I N Sへの登録を行うこと。 | |
| ● 工事実績情報の登録 (C O R I N S) | 工事請負代金が500万円を超える場合は、登録内容について監督職員の承諾を受けた後、所定の期間内に登録手続きを行うとともに、登録されることを証明する資料を監督職員に提出すること。 | |
| ● 火災保険等 | <p>本事に際し下記内容以上の保険に加入し、契約書の写し又は証明書を提出すること。</p> <p>① 保険種目</p> <ol style="list-style-type: none"> 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する「建設工事保険」又は「組立保険」（以下「建設工事保険等」という。） 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する「請負業者賠償責任保険」 工事の施工に伴う労働災害被災者を救済する労働者災害賠償保険法に基づく労働保険以外の保険等。（以下「法定外労災保険等」という。） <p>② 保険契約者 受注者 ③ 被保険者</p> <ol style="list-style-type: none"> 「建設工事保険等」及び「請負業者賠償責任保険」は、市立市民病院、受注者、関係する全下請負人。 「法定外労災保険等」は、本工事に従事するすべての労働者。 <p>④ 保険期間 (● 事着手の日 ○ 基礎工事完了直後の日) から契約工期の30日後まで。 ただし、「請負業者賠償責任保険」及び「法定外労災保険等」については工事着手の日からとする。</p> <p>⑤ 保険金額</p> <ol style="list-style-type: none"> 「建設工事保険等」は、請負金額全額（支給材料または貸与品がある場合はその金額を加算して額） 「請負業者賠償責任保険」及び「法定外労災保険等」は、賠償責任等を履行するために必要な金額 | |

| 種目 | 項目 | 特記事項 |
|----|---|---|
| | ● ワンデーレスポンスへの取り組み | <p>1. 発注者及び受注者は、ワンデーレスpons実施対象工事であることを認識し、工事に取り組むこと。</p> <p>「ワンデーレスpons」とは受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。</p> <p>2. 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の間違把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。</p> <p>3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。</p> |
| 一 | ● 契約不適合責任期間内における現場立会 | 発注者が引き渡された工事目的物に契約不適合がある、または、契約不適合の疑いがあると判断した場合、発注者の求めがあれば、受注者はこれに立会うこと。 |
| 般 | ○ 中間検査 | ○ 有 (部分について) |
| 共 | ○ そ の 他 | <p>○ 工事施工前に、電気主任技術者である関西電気保安協会、関西電気管理技術者協会等に連絡をとること。</p> <p>○ 建設業退職金共済制度に基づく掛金収納書の写しを提出すること。</p> |
| 通 | ○ 石綿含有仕上塗材を使用した内外装について穿孔等作業を行う場合の措置 | <p>本工事の対象とする建築物の内外装の仕上げには石綿含有仕上塗材を使用していることから、穿孔等作業(設備用配管や壁付設備機器の取付、設備用配管貫通口施工のため等に実施するもの)を実施するにあたっては、大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められているものほか、下記の事項を遵守すること。</p> <p>(1) 作業員は、石綿障害予防規則に基づく特別教育を受講したものとすること。</p> <p>(2) 作業員は、レベル3対応の呼吸用保護具及び作業衣を着用すること。</p> <p>(3) 石綿作業主任者を常駐させること。</p> <p>(4) 作業者・関係者以外の立ち入りを禁止すること。</p> <p>(5) 穿孔等作業に伴い発生したアスベストを含む廃棄物(保護具、作業衣、作業用ウエス等石綿粉じんの付着のおそれがあるものを含む)は、飛散防止対策を講じた上で石綿含有廃棄物として適正に処分をすること。</p> |
| 事 | ※上記の作業を実施するにあたっては、受注者により予め大津市環境政策課及び大津労働基準監督署と具体的な作業内容について協議を行った上で各関係法令に基づく届出関係書類を作成すること。 | |
| 項 | | |

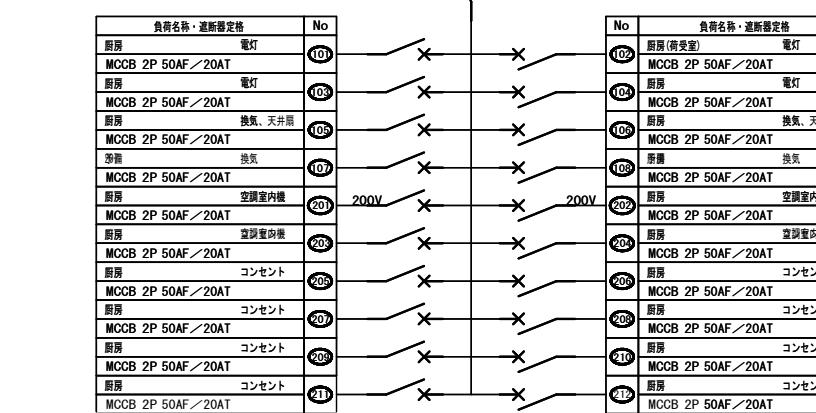
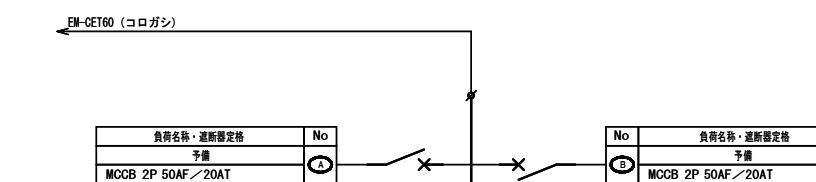
| 工事仕様 | | | | | |
|--|--|------------------------------------|------------------|---------------------|---------------|
| 項目及び特記事項は、●印のついたものを本工事に適用する。但し、●印のない場合は、※印を適用する。 | | | | | |
| 種目 | 項目 | 工事範囲 | | | |
| 受変電設備 | ○工事範囲 | ○配管 | ○配線 | ○機器取付 | ○撤去 |
| | ○電気方式 | 高圧3φ3W 6.6KV | 低圧3φ3W 200V | 1φ3W 200V / 100V | |
| | ○主遮断装置 | ○P F-S形 | ○CB形 | (○盤取付形 ○引出形) | 定格遮断電流 12.5KA |
| | ○変圧器 | 操作 (○手動 ○電磁) | | ○気中 | ○真空 |
| | ○進相コンデンサ | ○油入自冷式 | ○モールド | | |
| | ○配電盤 | ○設置 (※高圧側 ○低圧側) | ○放電コイル付 | ○直列リアクトル (※6% ○13%) | |
| | ○監視方式 | ○自動力率制御 | | | |
| | ○製作図 | ○屋内形 | ○屋外型 | | |
| | ○その他 | ○キュービカル式配電盤 | ○開放形配電盤 | | |
| | | 既製品 | ○工場製作品 | | |
| 自家発電設備 | ○警報盤による監視 | ○警報盤による監視 | ○中央監視盤による監視 | | |
| | ※各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | | | | |
| | ※低圧配電盤には、負荷側引出用端子を設け、閉開器容量及び回路名を表示すること。 | | | | |
| | ※低圧配電盤には点検路数を設け、ゴムシートを敷くこと。 | | | | |
| | ※高圧充電部前面及び点検用中通路には、透視パリア (遮光板) を設けること。 | | | | |
| | ※主遮断装置、変圧器、低圧銅帯にそれぞれサー・モラベル (不可逆性、3点) を貼付する。 | | | | |
| | ○工事範囲 | ○配管 | ○配線 | ○機器取付 | ○撤去 ○調整 |
| | ○形式 | ○キュービカル式 | ○オープン形 | ○低騒音形 | ○超低騒音形 |
| | ○用途 | ○消防設備用 | ○保安灯用 | ○保安効力用 | |
| | ○発電機 | 三相3線式 6.0Hz | V | KVA | 力率 0.8 |
| 幹線設備 | ○原動機 | 定格出力 | P S | 回転数 | r p m |
| | ○燃料 | 冷却方式 | (○水冷循環式 ○ラジエタ式) | | |
| | ○起動方式 | ○A重油 | ○軽油 | ○灯油 | ○ガス |
| | ○自動起動盤 | ○セル起動 (アルカリ・鉛直流電池付) | ○空気起動 (コンプレッサー付) | | |
| | ○監視方式 | ○壁掛型 | ○自立型 | ○発電機搭載型 | |
| | ○製作図 | ○警報盤による監視 | ○中央監視による監視 | | |
| | ○その他 | ※各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | | | |
| | | ※引き渡し時には、燃料を満タンにしておくこと。 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 動力設備 | ○工事範囲 | ○配管 | ○配線 | ○機器取付 | ○撤去 |
| | ○電気方式 | 3φ W V | 1φ3W 200V / 100V | 直流 | W V |
| | ○施工方法 | ○ケーブルラック配線 | ○金属管配線 | ○合成樹脂管配線 | |
| | ○分電・操作・監視盤等 | ○金属ダクト配線 | ○バスダクト配線 | ○ケーブル配線 | ○架空配線 |
| | ○製作図 | ○銅板製 | ○SUS製 | | |
| | ○その他 | ○自立型 | ○壁掛型 | ○埋込型 | |
| | | ○既製品 | ○単品製作品 | | |
| | | ※各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 電灯設備 | ●工事範囲 | ●配管 | ●配線 | ●機器取付 | ●撤去 |
| | ●電気方式 | 3φ 3W | V | 6.0Hz | |
| | ●施工方法 | ○金属管配線 | ●ケーブル配線 | ●合成樹脂管配線 | ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○起動方式 | ○ケーブルラック配線 | ○金属ダクト配線 | ○モール配線 | |
| | ○監視方式 | 5. 5KW以下直入 | 7. 5KW以上 | Y-△始動 | |
| | ○その他 | ○動力負荷には進相コンデンサを内蔵する。 | | | |
| | | ○警報盤による監視 | ○中央監視による監視 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 電照器具 | ●工事範囲 | ●配管 | ●配線 | ●機器取付 | ●撤去 |
| | ●電気方式 | 幹線 1φ3W 200V / 100V 6.0Hz | | | |
| | ●施工方法 | 分歧 1φ2W 100V (200V) | 6.0Hz | ○直流2線式 100V | |
| | ●照明器具 | ○金属管配線 | ●ケーブル配線 | ●合成樹脂管配線 | ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○非常照明の形式 | ●照明器具要因参照 | ○照明器具リスト参照 | | |
| | ●配線器具 | ○電池内蔵形 | ○電源別蔵形 | | |
| | ●製作図 | ○大角形 (全てネーム入) | | | |
| | ●その他 | ※各照明器具は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | | | |
| | | ●予備球について、LED照明の場合は、不要とする。 | | | |
| | | ●安定器撤去にあたり、PCB含有調査報告書を提出すること。 | | | |
| 避雷設備 | ○工事範囲 | ○受雷部 | ○避雷導線 | ○接地極 | |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 | ○合成樹脂管配線 | | |
| | ○受雷部 | ○突針 | ○地上導体 | ○金属製笠木等 (別途) | |
| | ○避雷導線 | ○建築構造体 | ○導線 | | |
| | ○支持管 | ※鋼製 | ○黄銅製 | | |
| | ○接地極 | ○建築構造体 | ○鋼板埋設 | | |
| | ○製作図 | ※各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | | | |
| | ○その他 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | |
|--------|-----|-----|-----|--|
| 訂 正 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | |
| | - | - | - | |
| | - | - | - | |
| | - | - | - | |

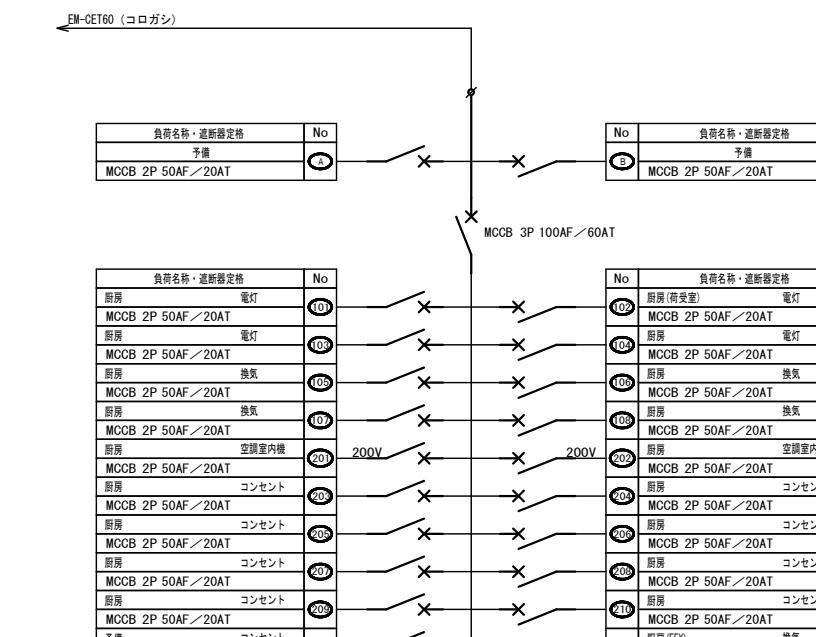
| | | | |
|----------|-----------------|------------|-----|
| FILE No. | 工事名 | SCALE | E |
| | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | 1:----(A1) | No. |
| | | | 1 |
| | | | |
| | | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 拡声設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○増幅器 | ○非常用 ○一般用 ○AV用 |
| | 形式 (○卓上 ○キャビネット形) 定格出力 W以上 | |
| | 付加機能 (○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニタ機能) | |
| | 組込みのラジオ受信部 (○AM ○FM) | |
| | ○スピーカー | 壁掛型 ○裏掛埋込型 ○天井直付型 ○天井埋込型 ○ホーン型 ○ |
| | ○機器盤 | ○機器姿図参照 ○機器リスト参照 ○凡例参照 |
| | ○端子盤 | ○銅板製 ○SUS製 |
| 製作図 | ○自立型 ○壁掛型 ○埋込型 ○既製品 ○単品製作品 | |
| その他 | ※ 各機器及び端子盤は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | |
| 電気時計設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○親時計 | ○水晶式 ○プログラムタイマ組込 ○カード式 ○パソコン入力式 ○電波修正機能 |
| | ○子時計 | ○壁掛型 ○ラック型 ○吊下げ型 |
| | ○機器盤 | ○機器姿図参照 ○機器リスト参照 ○凡例参照 |
| | 製作図 | ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 |
| | その他 | |
| インターホン設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○通話方式 | ○親子式 (○電話形同時通話式 ○電話スピーカ形同時通話式) ○テレビドアホン |
| | ○機器盤 | ○相互式 (○電話形同時通話式 ○電話スピーカ形同時通話式) |
| | 製作図 | ○機器姿図参照 ○機器リスト参照 ○凡例参照 |
| | その他 | ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 |
| トイレ呼出設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○トイレ呼出表示器 | ○窓 () ○インターホン付 |
| | ○機器盤 | ○機器姿図参照 ○機器リスト参照 ○凡例参照 |
| | 製作図 | ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 |
| | その他 | |
| テレビ共同受信設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○アンテナ | ○UHF用 ○BS用 ○CS用 |
| | ○アンテナマスト | ○自立型 ○壁面取付け |
| | ○電界強度 | アンテナマスト及びその支持材 (3点支持) などは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 施工前に板体立ち上がり後に、アンテナ取付予定位置及び建物による障害予想地域の電界強度を測定し、記録を速やかに提出すること。(部提出) |
| | 製作図 | ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 |
| | その他 | |
| 電話・電話用配管設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○交換機 | ○形状 () |
| | ○電話機 | ○電話機 台 (内) ○停電補償電話機 台 ○コードレス電話機 台 ○ナンバーディスプレイ |
| | ○保安器盤 | ○銅板製 ○SUS製 ○既製品 ○単品製作品 |
| | ○機器盤 | ○自立型 ○壁掛型 ○埋込型 |
| | 製作図 | ○機器姿図参照 ○機器リスト参照 ○凡例参照 |
| | その他 | ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 |
| 情報・情報用配管設備 | ●工事範囲 | ○配管 ○配線 ○機器取付 ○撤去 ○調整 |
| | ○施工方法 | ○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ○情報受口 | ○ローテンション ○ノズルプレート ○モジュラージャック (8局8芯) 付 |
| | ○情報機器盤 | ○本工事 ○別途工事 |
| | 製作図 | ○銅板製 ○SUS製 ○自立型 ○壁掛型 ○埋込型 |
| | その他 | ○既製品 ○単品製作品 |
| | ※ 各機器及び情報機器盤は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 | |
| 火災報知設備 | ●工事範囲 | ●配管 ●配線 ●機器取付 ●撤去 ○調整 |
| | ●施工方法 | ●金属管配線 ●ケーブル配線 ○合成樹脂管配線 ○モール配線 ○架空配線 |
| | ●受信機 | 型級回線 (防火戸回線・一般警報回線) |
| | ○機器盤 | ●壁掛型 ○自立形 ○複合形 |
| | ○消火ポンプの起動 | ※ 消火栓ボックス内押ボタン |
| | ○機器盤 | ○機器姿図参照 ○機器リスト参照 ○凡例参照 |
| | 製作図 | ※ 各機器は製作図を提出し、監督職員の承諾を受けた後、発注のこと。 |
| | 移報回路 | ○非常放送 ○昇降機 ○機械警備 ○誘導灯信号装置 |
| | その他 | ●警戒区域図の ※ 作成 ●変更 |

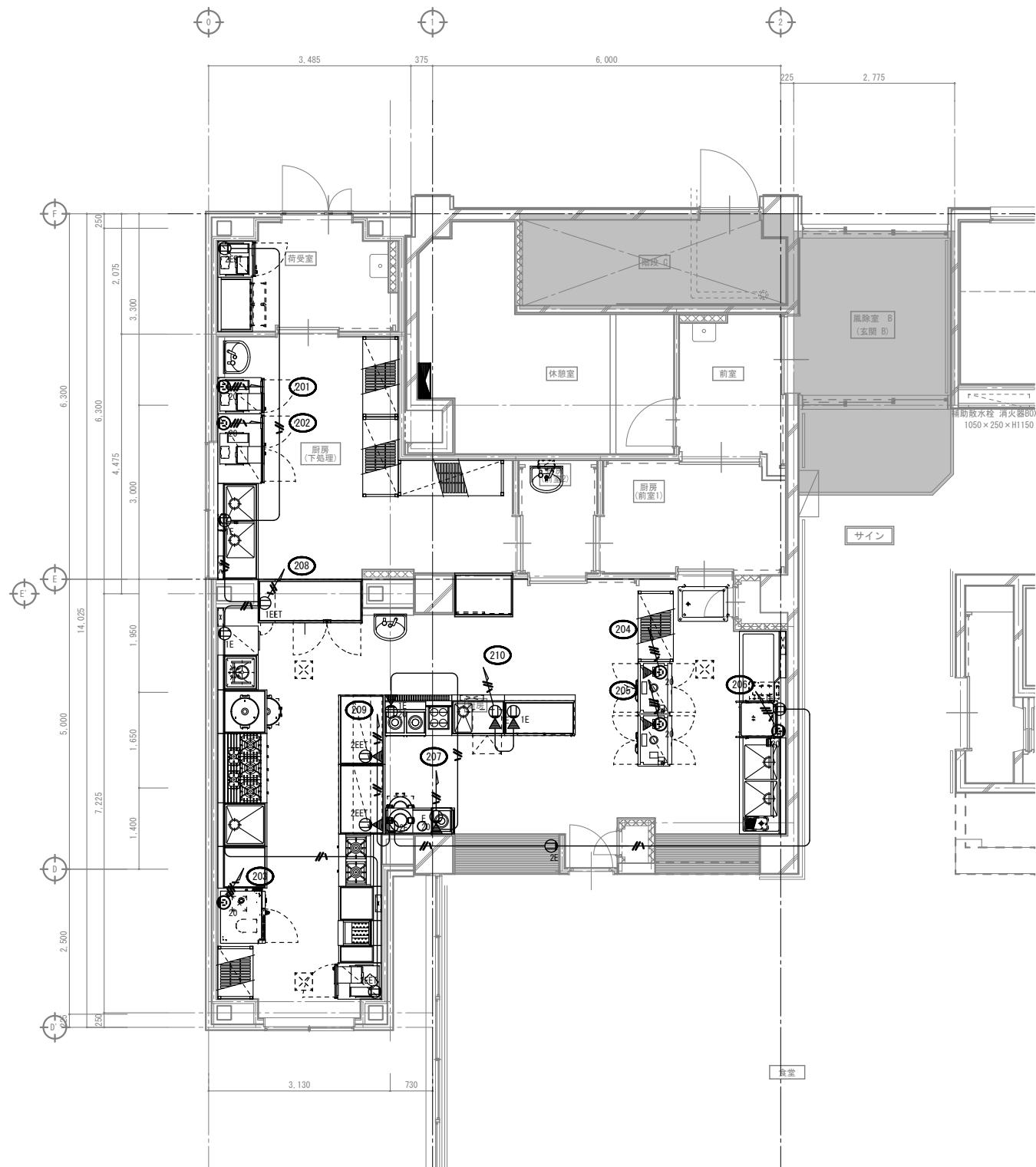
| III 使用機材等指定表 | |
|---------------|---|
| 製造業者名 | |
| 機材名 | 電線管・付属品 |
| J I S規格品 | 積水化学工業 拼圖工業 日動電工 ネグロス電工 南電機 八州電工 |
| アスベック・ダクト・ダブル | J I S又はJ C S規格品 |
| 電線・ケーブル | 耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定を受けている旨の表示 (J C M A) をしたもの |
| 配線器具類 | 神保電器 壬和電機 寺田電機製作所 東芝ライテック パナソニック |
| 照明器具 | 因幡電機製作所 岩崎電気 遠藤照明 大光電機 東芝ライテック パナソニック |
| 配分電盤類 | 京都精工電機 草川電機製作所 新岩村電機製作所 大正電機製造 三星電機製作所 名神電機 |
| 既製分電盤類 | 河村電器産業 草川電機製作所 大正電機製造 内外電機 日東工業 |
| 配線用遮断器 | パナソニック 名神電機 |
| 放送機器 | 東芝ライテック 白立産機システム 富士電機機器制御 三菱電機 |
| インターホン機器 | アイホン N I C ケアコム 東芝ライテック パナソニック |
| テレビ共聴機器 | D Xアンテナ 日本アンテナ パナソニック HHSJ-GP100GP-B |
| コンクリート柱 | 大日コンクリート工業 日本セイワケヤボート 三谷セキサン |
| 鋼管柱 | 丸一鋼管 ヨシモトボール |
| ハンドホール | アトコクリート工業 ケイコン 光栄 宮立基 平和コンクリート工業 |
| 同上鐵蓋 | カネソウ 福西鋳物 北勢工業 |
| 防災機器 | ニッタク 日本ドライバック 能美防災 パナソニック ホーチキ |
| 表示器 | アイホン シチズンTIC ゼロワンオカダ パナソニック 富士通コントロller |
| 電話機・交換機 | N T T 沿電気工業 日本電気 パナソニック 日立電話機カンパニー 富士通 |
| 視聴覚機器 | JVCケンウッド ソニー T O A 東芝ライテック パナソニック 三菱電機 |
| 高圧電磁接触器 | 高圧電磁接触器 東芝 日立産機システム 富士電機機器制御 三菱電機 明電舎 安川電機 |
| 高圧氣中開閉器 | エナジードーム 大垣電機 戸上電機製作所 日本高圧電気 三菱電機 明電舎 |
| 高圧遮断器 | 東芝 日新電機 日立産機システム 富士電機機器制御 三菱電機 明電舎 |
| 変圧器 | ダイヘン 東芝 日新電機 日立産機システム 富士電機 三菱電機 |
| コンデンサー・リアクチュ | 指月電機製作所 東芝 ニチコン 日新電機 三菱電機 利昌工業 |
| アンテナマスト | |
| 電界強度 | |
| 製作図 | |
| その他 | |



現況 分電盤結線図

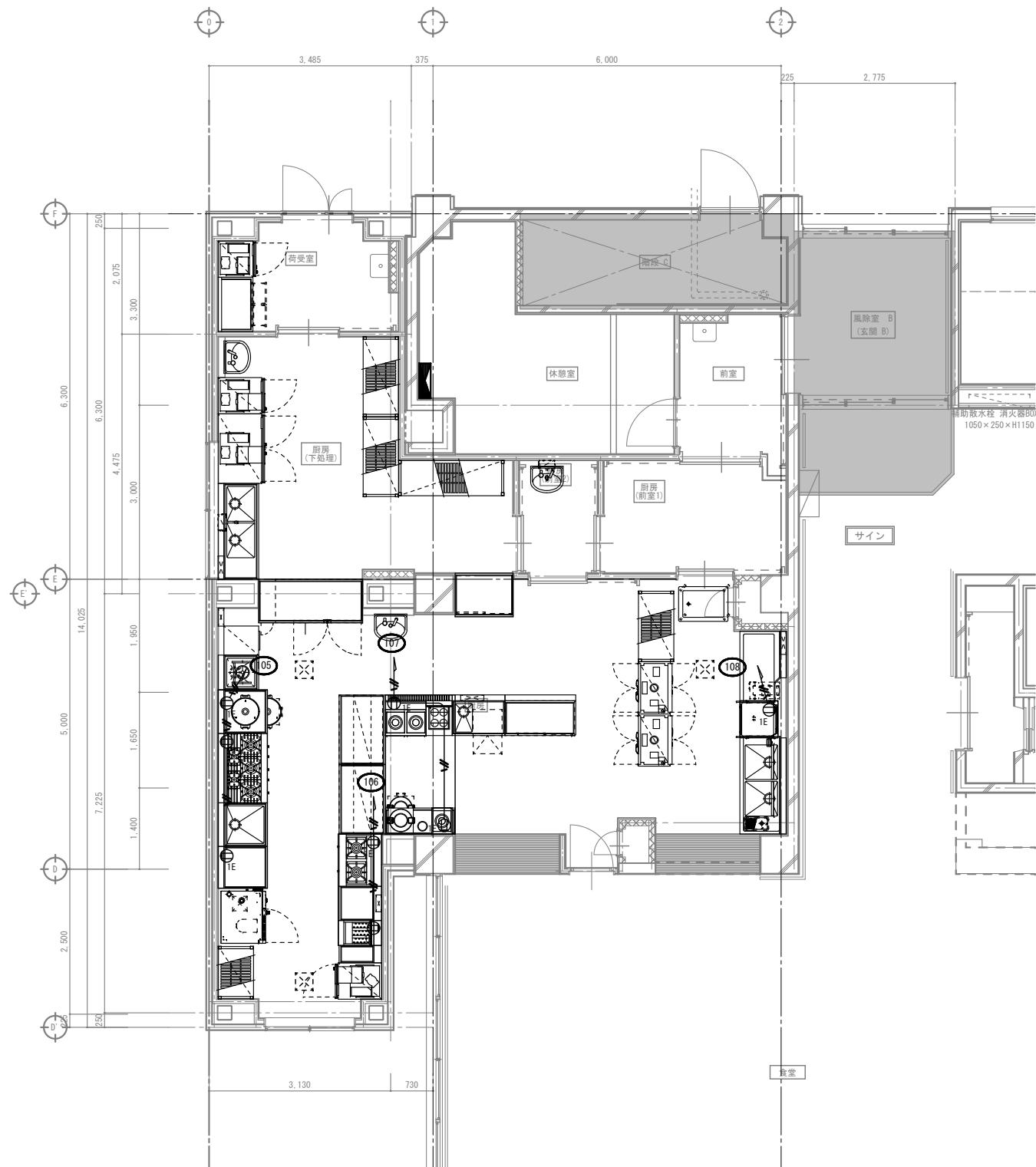


改修後 分電盤結線図



コンセント設備平面詳細図

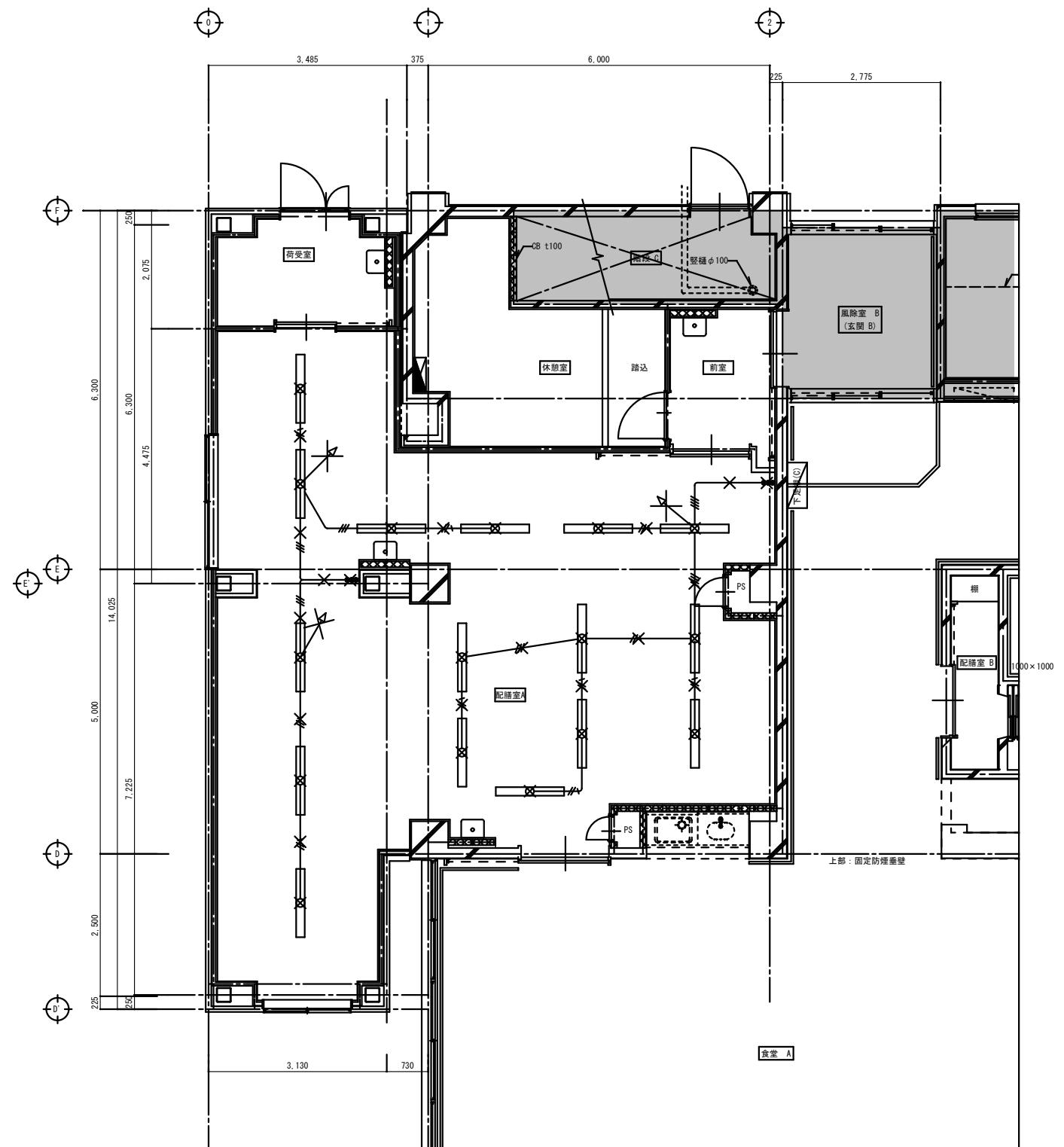
| 凡例 | | | |
|---------|----------|-------------|----------|
| コンセント設備 | | | |
| ①E | 埋込コンセント | 2P1E15A x 1 | 接地極付 |
| ①EEET | 埋込コンセント | 2P1E15A x 1 | 接地極接地端子付 |
| ①2E | 埋込コンセント | 2P1E15A x 2 | 接地極付 |
| ②2EEET | 埋込コンセント | 2P1E15A x 2 | 接地極接地端子付 |
| ③20E | 防水コンセント | 2P1E15A x 2 | 200V |
| ④20 | 埋込コンセント | 3P1E20A x 1 | 200V |
| ⑤ | 床埋込コンセント | | |



換気用 コンセント設備平面詳細図

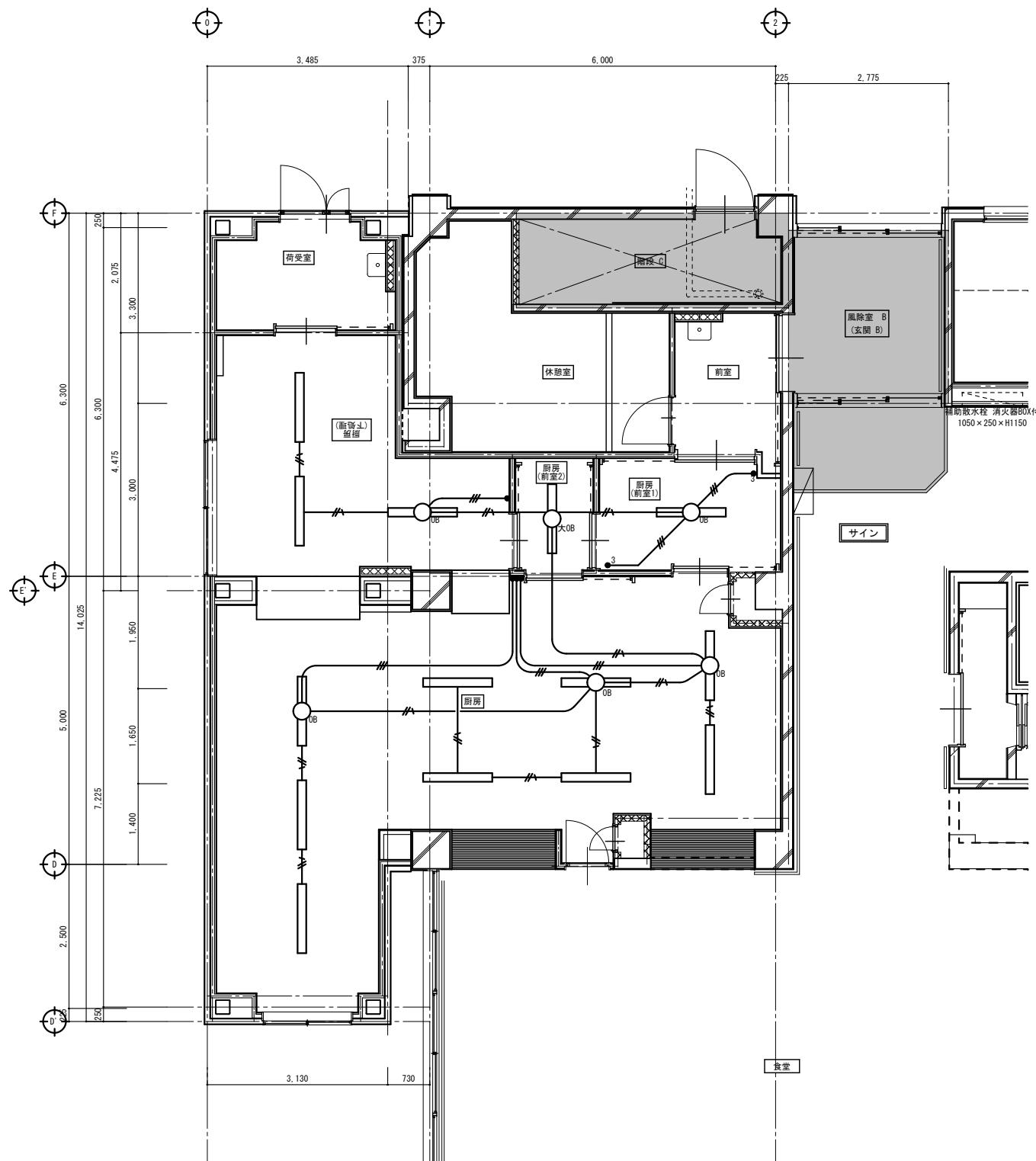
| | |
|------------------|--------|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | |
| EM-EEF1.6-2C | (PF16) |
| EM-EEF2.0-3C | (PF22) |
| EM-CE 3.5S0-4C | (PF22) |

P 配管は壁面、及び土間のみとし、2重天井内はこがし配線とする。



電灯設備 撤去図

| | | | | | |
|------------------|----------------------------|--|--|--|--|
| 凡例 | スイッチ | | | | |
| 照明器具 | 直付 F L 4 0 W-2 (防水仕様)一時取外し | | | | |
| | | | | | |
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | | | | |
| ■ | EM-EEF1.6-3C (PF22) | | | | |
| △ | EM-EEF1.6-3C (PF22) | | | | |
| ▲ | EM-EEF1.6-2C x 2 (PF22) | | | | |
| 図中Xは撤去を示す | | | | | |



| 電灯設備 | |
|------|-----------------------|
| ● | 片切スイッチ |
| ●3 | 3路スイッチ |
| □06 | アウトレットボックス V E 製 四角中浅 |
| □06大 | アウトレットボックス V E 製 四角大深 |

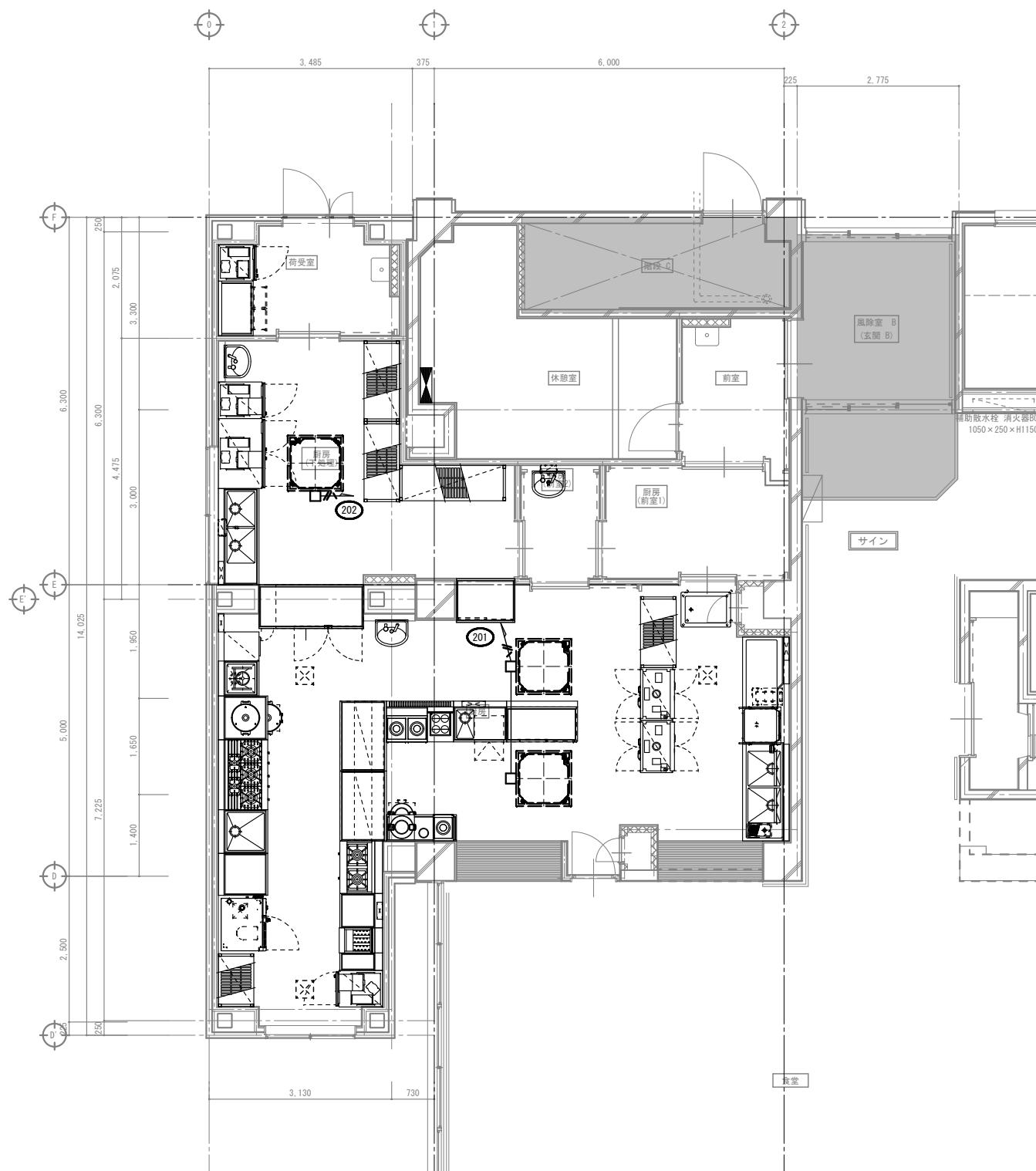
| | | |
|------------------|------------------------|-------------------------------|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
| /// | EM-EEF1.6-3C (PF22) | P F配管は壁面のみとし、2重天井内はころがし配線とする。 |
| //\ | EM-EEF1.6-3C (PF22) | |

| | |
|---------------------------|---|
| 14カ所 | 直付形 40形 防湿型・防雨型 W150 一般タイプ、5200lmタイプ、消費電力：32.5W |
| |  |
| 定格出力型、電圧 100~242V | |
| 本体、ステンレス製 | |
| 防雨型、防湿型タイプバー：ポリカーボネート（乳白） | |
| 光寿命 40000時間 | |
| 白色（5000K） | |
| Ra83、IP23防湿型 | |
| 公共品番： | |
| 1-32.5 LSS9MP/RP-4-46 | 消費電力：32.5W |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|--|---|---|
| 訂 | 月 | 日 | | 月 | 日 | | 月 | 日 |
| 正 | - | | | - | | | - | |
| | - | | | - | | | - | |
| | - | | | - | | | - | |
| | - | | | - | | | - | |

名
旧ケアセンターおおつ棟改修工事

| | | |
|------------------|----------|-----|
| 旧ケアセンターおおつ様 | SCALE | E |
| 現況 改修後 電灯設備平面詳細図 | 1:50(A1) | No. |
| | | 4 |
| | | |

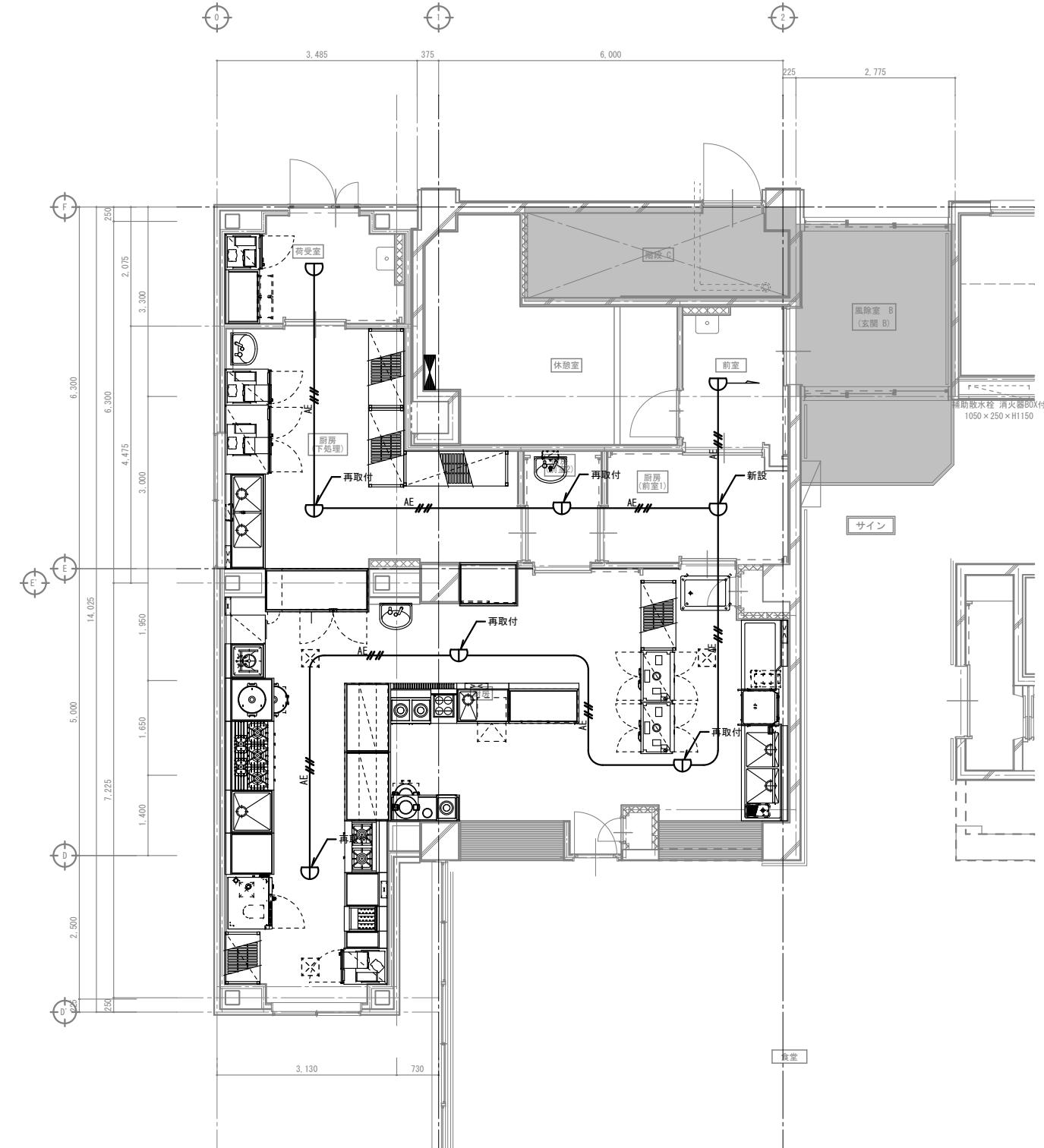
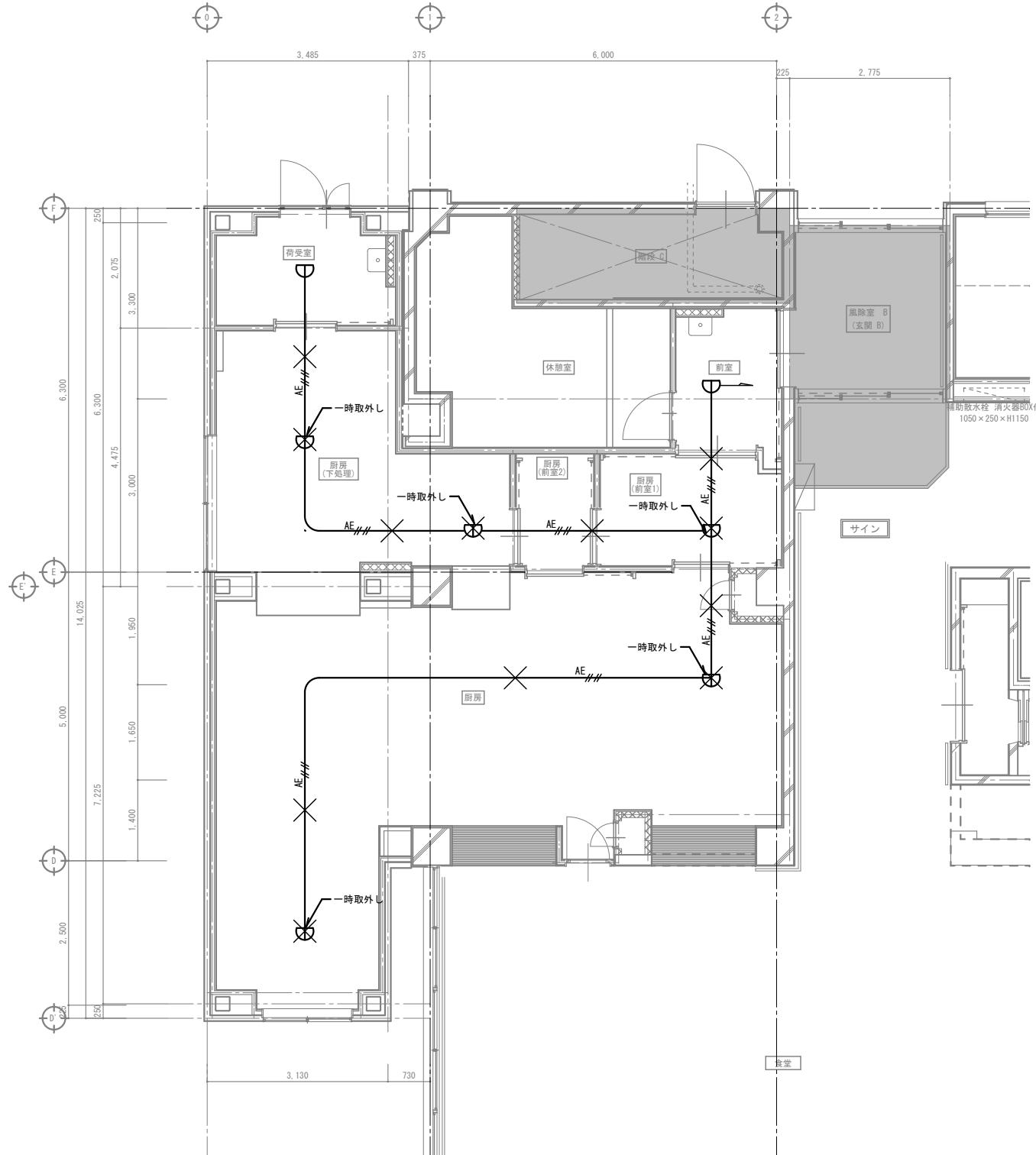


空調設備平面詳細図

| 目録 | |
|-----|---|
| □08 | アウトレットボックスV E製 四角中浅 特記無き配管・配線は下記による。 |
| — | EM-EEF2.0-3C (PF22) |
| P | F配管は壁面のみとし、2重天井内はころがし配線とする。 |

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

| | | | | |
|----------|-----|-----------------|-----------|-------|
| FILE No. | 工事名 | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | SCALE | E |
| | | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | 1:50 (A1) | No. 5 |



| | | |
|-------------|--------------------------------|-------|
| 凡例 | 定温スポット型感知器 特記書き記載・配線は下記による。 | 1種防水型 |
| ■ AE | EM-AE 1, 2-4C x 1 (PF16) | |
| P.F | 配管は壁面のみとし、2重天井内はこらがし配線とする。 | |
| 図中 X は撤去を示す | | |



| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
|-----|-----|-----|-----|
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

| FILE No. | 工事名 | SCALE | E |
|----------|-----------------|-----------|-------|
| | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | 1:50 (A1) | No. 6 |

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

| | | | |
|---------|-----------------|--|--|
| 1. 工事名称 | 旧アセセンターおおつ様改修工事 | | |
| 2. 工事場所 | 滋賀県大津市本宮二丁目9-9 | | |
| 3. 建物概要 | | | |

4. 工事種目 (●印を適用し、各一式とする)

| 種目 建物 名称 | 工事種別 | | | |
|----------------|-------------|---|---|---|
| | 旧アセセンターおおつ様 | | | |
| 空気調和設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 換気設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 排煙設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 衛生器具設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 給水設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 排水設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 給湯設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 消防設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ガス設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 浄化槽設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 撤去工事 | ○ | ○ | ○ | ○ |

II 工事仕様

| | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 共通仕様 | (1) 現場説明 (現場説明に対する質問回答書を含む。)、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房企画総務部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)「平成31年版」、国土交通省大臣官房企画総務部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)「平成31年版」、国土交通省大臣官房企画総務部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)「平成31年版」、大津市建設部建築課作成の手引き(機械設備工事編)「平成31年版」は、以下「標準図」、大津市建設部建築課作成機械設備工事 施工監理ノート「最新版」による。(国土交通省大臣官房企画総務部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)「平成31年版」は、以下「標準図」、大津市建設部建築課作成の手引き(機械設備工事編)「平成31年版」は、以下「標準図」、大津市建設部建築課作成機械設備工事 施工監理ノート「最新版」による。) | | |
| (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない、なお、それらの工事仕様について記載されていない事項は、電気設備工事は、国土交通省大臣官房企画総務部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)「平成31年版」により、建築工事は、国土交通省大臣官房企画総務部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)「平成31年版」による。 | | | |
| (3) 本工事は大津市契約規則、建設業法、消防法、労働安全衛生法、大津市水道事業給水条例、大津市ガス供給条例、大津市下水道条例及びこれらの関係諸法を遵守し施工する。 | | | |
| 2. 特記仕様 | (1) 項目及び特記事項は、●印のついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は、●印の付いたものが無ければ※印を適用し、○印のものは適用しない。 | | |

| 種目 | 項目 | 特記事項 | |
|---------|---------------|---|---|
| ●一般共通事項 | ● 機材等 | 機材等は、使用機材等指定表(3号図)によるほか、これらと同等のものとする。但し、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 | |
| | ● 機材等の検査に伴う試験 | 試験を行なう機材等は、検査による。 その他の指定する機材、※無 ○有() 新たに設置する機材等については、工場試験成績書(判定基準を含む)とともに製造者による現場試験を実施し、試運転結果報告書(判定基準を含む)を提出すること。 | |
| | ○ 監督職員事務所 | ※設けない ○設ける() ○ 本工事用電力・水道 | 施設管理者の同意の上、施工計画書により監督職員の承諾を受けたものを除き、下水道・その他 |
| | ● 工事用仮設物 | 構内につくることが※できる ○できない ただし、引き渡しを要しないものは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関連法令に基づき適切に処理すること。 | |
| | ● 完成図等 | 軽なもので除き、施工図を提出すること。また、当該建物の取得する施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は受注者が移譲するものとする。 | |
| | ● 工事写真 | ※写真監理ノートによる。 | |
| | ● 完成写真 | ※写真監理ノートによる。 | |
| | ○ 総合調整・測定 | ※本工事(調整項目は下記のものとする。) ○別途工事 ○風量調整 ○水温調整 ○騒音測定 ○動測定 ○室内外空気の温湿度の測定 ○室内気流及びじんわりの測定 ○飲料水の温湿度の測定(※ビーパ管法にて測める16項目及び残留塩素 O51項目) | |
| | ● 備品機能上の協議 | 図面において機能上疑義を生じた場合、検討したのち監督職員と協議する。 | |
| | ● 火災保険等 | 本工事に際して下記内容以上の保険に加入し、契約書の写し又是証明書を提出すること ①保険種目 1.工事目的、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する「建設工事保険」又は「組立保険」(以下「建設工事保険等」という)。 2.工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する「請負業者賠償責任保険」 3.工事の施工に伴う労働災害被災者を救済する労働者災害補償保険法に基づく労働保険以外の保険等(以下「法定外労災保険等」という)。 ②保険契約者 受注者 ③被保険者 1.建設工事保険等、及び「請負業者賠償責任保険」は、大津市、受注者、関係する全下請負人 2.「法定外労災保険等」は、本工事に從事するすべての労働者 ④保険期間 (※工事着手の日〇基礎工事完了直後の日)から契約工期の30日前まで ただし、「請負業者賠償責任保険」及び「法定外労災保険等」については工事着手の日からとする。 ⑤保険金額 1.「建設工事保険等」には、請負金額全額(支給材料または貸与品がある場合はその金額を加算した額) 2.「請負業者賠償責任保険」及び「法定外労災保険等」は、賠償責任等を履行するために必要な金額 ⑥指定工事店等 本工事に伴う給水、排水、ガス工事については本市指定工事店等での施工とする。 | |

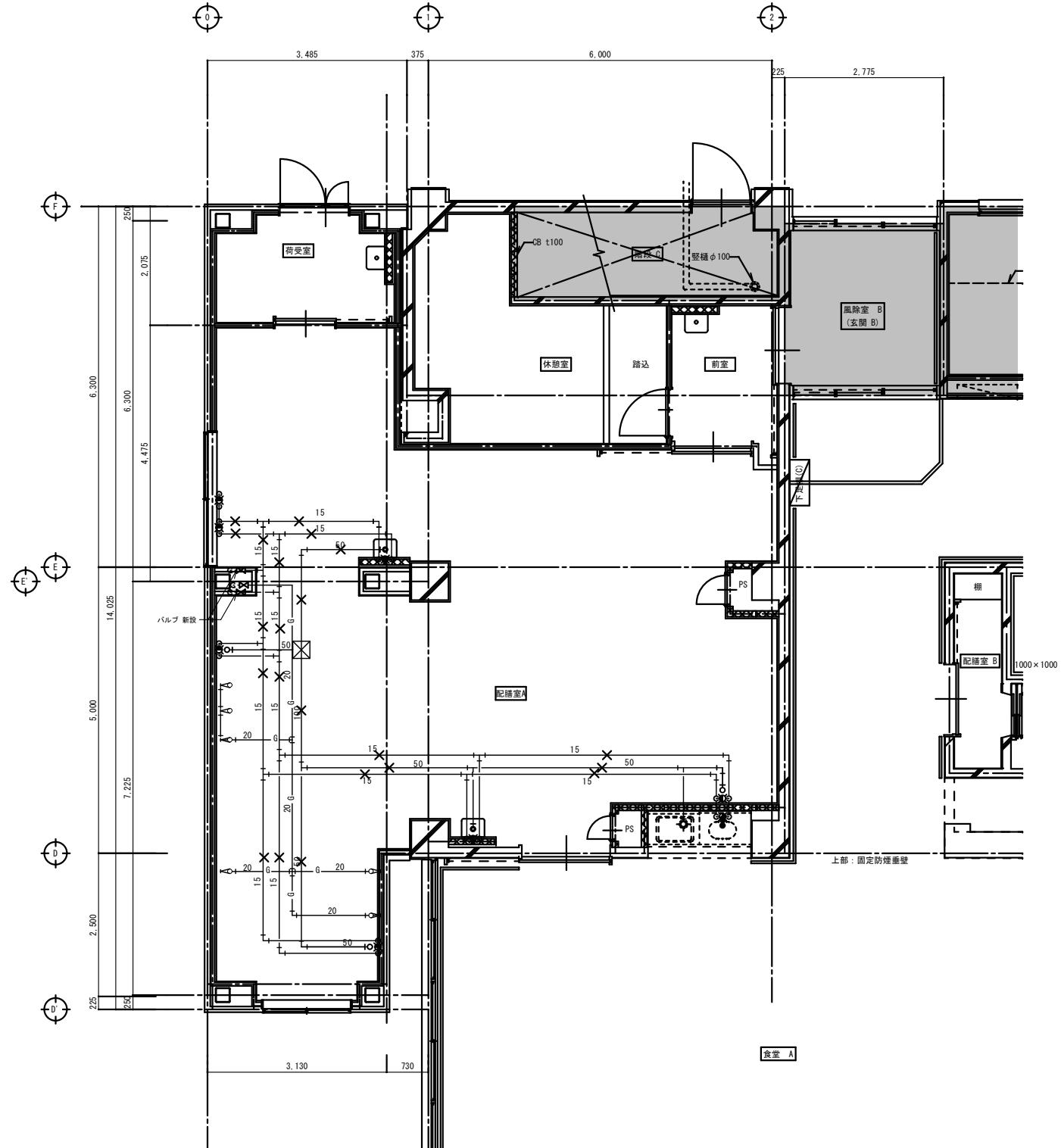
| | | | |
|------------------------------|---|--|--|
| ● 建設副産物 (建設副産物情報交換システム) | 本工事は、建設副産物情報交換システム(COBRIS)の登録対象工事であり、受注者は施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた際は、すみやかに当該システムのデータ入力または更新を行うこと。 また、受注者は、COBRISにより出力した再生資源利用促進計画書(実施書)及び同電子データを保存したCDを、それを監督職員に提出するものとする。 | | |
| ● 工事実績情報の登録 (C O R I N S) | 工事請負金が500万円を超える場合は、登録内容について監督職員の承諾を受けた後、所定の期間内に登録手続きを行うとともに、登録されることを証明する資料を監督職員に提出すること。 | | |
| ● 建退込証紙の受払いの記録 | 建設業退職金共済制度について、証紙の受払いについての記録を整備し、その報告書を提出すること。また、受払いを辞退する事業者のある場合は、その意思が確認できる書類の写しを提出すること。 | | |
| ○ 技能士の適用 | ○配管工(高圧工事)(保温工事) ○冷凍空気調節機器施工(冷凍空調機器の搬入) | | |
| ● 不当介入の排除 | 1 受注者は、最大力員等(暴力団構成員および暴力団関係者、その他の市民病院発注工事等)に対する不当介入をようとするすべての者をいう。)による不当介入(不必要な要求など業務妨害)を受けた場合は、断然してこれを拒否することに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。 2 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、受注者は、以下のことについて、下請負人(再委託の協約の受託者を含む)に対して、十分に指導を行なうものとする。 3 受注者は、最大力員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工事等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 | | |
| ● 監理技術者又は主任技術者の専任期間 | 主任技術者又は監理技術者(以下「技術者」という。)の専任の要否については、建設業の定めによる。なお、技術者等の専任をする場合における技術者等の専任期間については、原則として契約工期とするが、下記の1)及び2)の期間については、専任を要しない。 1) ○請負契約の締結日の翌開工日から令和 年 月 日までの期間 ※請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間) (なお、現場施工に着手する日については、契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。) 2) 工事請負契約書(以下「契約書」という。)第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約工期満了までの期間 (なお、検査を完了した日には、発注者が契約書第31条第2項に基づく当該検査の結果を通してした日(契約書第31条第4項に該当するものも含む。)とする。) | | |
| ● 特例監理技術者及び監理技術者補佐 | 1. 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置は、 ※認めない。 ○認めない。 (ただし、以下の(1)～(8)の要件を全て満たすこと) (1) 設計監理者補佐は、一級施工管理技工士は一級施工管理技工士の国家資格者、学識や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の技術能力は建設業法第7条の規定に基づく技術能力登録種目は、特例監理技術者を求める技術能力登録種目と同じである。 (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技工士は一級施工管理技工士の国家資格者、学識や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。 (3) 監理技術者補佐は他人参加を除く直接的な工事の数は、本工事を含む同時に2件までとする。(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それらの工事の対象となる工作物等に一體性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。)については、これらの複数の工事を一つの工事とみなす。) (4) 特例監理技術者が兼業する工事は大津市内の工事でなければならない。 (5) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の会議等の業務を適正に行なうべきである。 (6) 特例監理技術者は監理技術者補佐との間接的連絡等を記載した書類(施工計画書など)の提出を要する。 (7) 特例監理技術者は監理技術者補佐との間接的連絡等を記載した書類(施工計画書など)の提出を要する。 (8) 特例監理技術者は監理技術者補佐の業務を確認することと、また、再取付後には既設機器の運転を確認すること。 | | |
| ● 特例監理技術者及び監理技術者補佐 | 1. 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置は、 ※認めない。 ○認めない。 (ただし、以下の(1)～(8)の要件を全て満たすこと) (1) 設計監理者補佐は、一級施工管理技工士は一級施工管理技工士の国家資格者、学識や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の技術能力は建設業法第7条の規定に基づく技術能力登録種目は、特例監理技術者を求める技術能力登録種目と同じである。 (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技工士は一級施工管理技工士の国家資格者、学識や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。 (3) 監理技術者補佐は他人参加を除く直接的な工事の数は、本工事を含む同時に2件までとする。(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それらの工事の対象となる工作物等に一體性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。)については、これらの複数の工事を一つの工事とみなす。) (4) 特例監理技術者が兼業する工事は大津市内の工事でなければならない。 (5) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の会議等の業務を適正に行なうべきである。 (6) 特例監理技術者は監理技術者補佐との間接的連絡等を記載した書類(施工計画書など)の提出を要する。 (7) 特例監理技術者は監理技術者補佐との間接的連絡等を記載した書類(施工計画書など)の提出を要する。 (8) 特例監理技術者は監理技術者補佐の業務を確認することと、また、再取付後には既設機器の運転を確認すること。 | | |
| ● 保証金の支拂い | 1. 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置は、 ※認めない。 ○認めない。 (ただし、以下の(1)～(8)の要件を全て満たすこと) (1) 設計監理者補佐は、一級施工管理技工士は一級施工管理技工士の国家資格者、学識や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の技術能力は建設業法第7条の規定に基づく技術能力登録種目は、特例監理技術者を求める技術能力登録種目と同じである。 (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技工士は一級施工管理技工士の国家資格者、学識や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。 (3) 監理技術者補佐は他人参加を除く直接的な工事の数は、本工事を含む同時に2件までとする。(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それらの工事の対象となる工作物等に一體性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。)については、これらの複数の工事を一つの工事とみなす。) (4) 特例監理技術者が兼業する工事は大津市内の工事でなければならない。 (5) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の会議等の業務を適正に行なうべきである。 (6) 特例監理技術者は監理技術者補佐との間接的連絡等を記載した書類(施工計画書など)の提出を要する。 (7) 特例監理技術者は監理技術者補佐との間接的連絡等を記載した書類(施工計画書など)の提出を要する。 (8) 特例監理技術者は監理技術者補佐の業務を確認することと、また、再取付後には既設機器の運転を確認すること。 | | |
| ● 保証金の支拂い | 1. 本工事は、建設業法第26条第3項 | | |

| 種目 | 項目 | 特記事項 | |
|--------|-------------------|---|--|
| | | ●工事範囲 | ●機器据付・取付 ●配管 ○防露・塗装他 |
| ●排水設備 | ●排水方式 | 汚水と雑排水 屋内 混合式 ○合流式 屋外 混合式 ○分流式 ポンプ排水 ※なし ○有り ○(汚水 ○雑排水 ○浄化槽二次排水) | ※特組本足場 ○くさび緊結式足場 ○単管足場 手すり先行方式の適用 满する ○しない 養生シートの施工 ※する (災防I類 ○防災II類 ○垂直ネット) ○しない 壁つなぎアンカーについては、その固定間隔は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」の最新版に基づいて設定し、足場撤去時には、当該アンカー等施工時にについて、シーリング材充填など適切な復旧措置をとること。 |
| | ●放流水先 | 1)汚水 混合放流水下水管 ○合併浄化槽 ○汲取り(便所) 2)雑排水 混合放流水下水管 ○併用浄化槽 | |
| | ●配管材料(図面特記部分は除く) | 配管材料は、(2)号団の配管材料一覧による。 1)流し床の床面露出部分の配管は、ビニル管(VP)でもよい(保温不要)。 2)鋼管類のポンプアップ排水用の継手は、ねじ接合、フランジ接合又はピクトリック継手とする。 | |
| | ●樹及びふた(図面特記部分は除く) | 樹及びふたの仕様については、標示によるほか、以下による。 1)樹脂製樹の適用は下表による。 | |
| | | 樹径 樹木本体の材質 ふた 車両通行なし 車両通行あり 150φ 硬質塗化ビニル 内ふた+ 塗被製(密閉型) 200φ以上 硬質塗化ビニル 塗被製(密閉型) 内ふた+ 300φ以下 硬質塗化ビニル (水封形) 鎌鉄製防護ふた(簡易型) 溜め樹 ポリプロピレン レジコン製 鎌鉄製防護ふた(標準型) (300φ以上) 注) 鎌鉄製防護ふたの耐荷重はT-(38 ○14 ○25)とする。 2)マンホールふた(弁樹用B-1を除く)の安全荷重の適用は下記による。 (車両通行がない場合) ※5kN以上 ○15kN以上 (総重量6t未満の車両が通行する場合) ※15kN以上 ○50kN以上 (総重量6t以上の車両が通行する場合) ※50kN以上 | |
| | ○塗装(図面特記部分は除く) | 標示によるほか、以下に示す箇所に塗装を行う。 適用箇所：(保温されない屋内露出VP管(カラーブル)を除く) 塗装仕様：(プライマー塗布の上、調合ペイント2回塗り) | |
| | ○満水試験 繼手 | ※要(○示す箇所に取付ける) ○不要 | |
| | ○試験 | ※要(○満水 ○通水) | |
| | ○その他 | 着手前に大津市企業局と協議を行い、その指示に従うこと。 | |
| | ●工事範囲 | ●機器据付・取付 ○配管 ○防露・塗装他 ○調整 | |
| | ●給湯方式 | ●中央式 ○局式 | |
| | ●配管材料(図面特記部分は除く) | 配管材料は、(2)号団の配管材料一覧による。 | |
| | ○貯湯タンク | ※ステンレスクラッド鋼板製 ○ステンレス鋼板製 | |
| | ○電気防食措置 | ステンレスクラッド鋼板製及びステンレス鋼板製の貯湯タンクには、下記の防食措置を施すものとする。※外部導電方式 ○流電陽極方式 | |
| | ●保温 | 膨張管の保温は冷温水管に準ずる。また、補給水管の保温は給水管に準ずる。 地中埋設する給湯管は保温を行い、仕様は標示における給湯管の屋外露出の項に準ずる。ただし、保温外装は不要とする。 | |
| | ●試験 | ※要 ○不要 | |
| ○消火設備 | ○工事範囲 | ●機器据付・取付 ○配管 ○保温・防露・塗装他 ○調整 | |
| | ○消防設備の種類 | ○屋内消火栓 ○ハッカージ型屋内消火栓 ○スクリンクラー ○不活性ガス消火 ○泡消火 ○粉末消火 ○連絡散水 ○屋外消火栓(埋設) ○採水口 | |
| | ○表示灯 | 屋内消火栓には、火災ボタン連動表示灯取付用口を設ける。 | |
| | ○消火ポンプ | 制御盤 ○付属 ○別途(電気工事) 呼水タンク ※要 ○不要 | |
| | ○配管材料(図面特記部分は除く) | 配管材料は、(2)号団の配管材料一覧による。 | |
| | ○保温 | ○消火用充水タンクの保温を※施工する(膨張タンクに準ずる) ○施工しない ○消火用呼水タンクの保温を※施工しない ○施工する(膨張タンクに準ずる) | |
| | ○試験 | ※要 ○不要 | |
| | ○その他 | 延滞なく消防栓、着工届、設置箇所を所轄消防署に提出し、その指示に従うこと。 | |
| ●ガス設備 | ●工事範囲 | ●配管 ○塗装 ○調整 | 都市ガス工事については、ガス事業者(大津市企業局)の仕様に従うこと。 |
| | ●ガスの種類 | ※都市ガス 1.3A ○液化石油ガス(※50kg ○20kg ○バルク) | |
| | ●配管材料(図面特記部分は除く) | 配管材料は、本団の配管材料一覧による。 | |
| | ●施工要領 | | |
| | ○ビット内施工法 | ※溶接工法 ○() | |
| | ●ガス漏れ警報器 | ○本工事(外部出入口端子) ※なし ○有り ○別途 | |
| | ●試験 | ※要(○空気 ○点火) | |
| | ○その他 | 着手前に大津市企業局と協議を行い、その指示に従うこと。 | |
| ○浄化槽設備 | ○工事範囲 | ○設置 ○機器据付・取付 ○配管 ○塗装他 ○調整 | |
| | ○形式 | ○現場施工 ○ユニット形 | |
| | ○処理方式 | ○小規模合併処理(別図参照) ○併合処理(別図参照) | |
| | ○処理能力 | 処理対象人員 人 处理水量 m ³ /d | |
| | ○放流水質 | BOD mg/l以下 | |
| | ○基礎杭 | 基準杭を要する ○要(○本工事 ※別途) | |
| | ○その他 | 制御盤よりの配管、機器類よりの配管、各構造の配管は本工事とする。 | |
| ○撤去工事 | ○工事範囲 | ○設置 ○機器据付・取付 ○配管 ○塗装他 ○調整 | |
| | ○形状 | ○現場施工 ○ユニット形 | |
| | ○処理方式 | ○小規模合併処理(別図参照) ○併合処理(別図参照) | |
| | ○処理能力 | 処理対象人員 人 处理水量 m ³ /d | |
| | ○放流水質 | BOD mg/l以下 | |
| | ○基礎杭 | 基準杭を要する ○要(○本工事 ※別途) | |
| | ○その他 | 制御盤よりの配管、機器類よりの配管、各構造の配管は本工事とする。 | |
| ●その他 | ●工事範囲 | ※本工事等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改標仕第3編2.4.3による。また、以下の書類を監督職員に提出する。 ○回収・再生・破壊証明書及び再生・破壊証明書、並びに引取証明書の写し | |
| | ●環境への配慮 | (1)国による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成28年2月開発決定)」による。 (2)建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(ア)から(エ)を満たすものとする。 (ア)合板、木系フローリング、構造用パネル、集成材、单板積材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、絶熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材質で、設計図書に規定する(ホルムアルデヒドの放散量)の区分に応じた材料を使用する。 (イ)接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン、及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (ウ)接着剤は、可塑剤(タル酸ジ- <i>n</i> -ブチル及びタル酸ジ-2-エチルヘキシン等を含む)ない難燃性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 (エ)(ア)の材料を使用して作られた工具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3)設計図書に規定する(ホルムアルデヒドの放散量)の区分において、「規制対象外」とは次の(ア)は(イ)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の(ア)又は(エ)に該当する材料を指す。 (ア)建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種、及び第三種ホルムアルデヒド免設建蔽料以外の材料 (イ)建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (ウ)建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド免設建蔽料 (エ)建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 | |

| ○外部足場(本工事にて設置の場合) | | 外部足場の仕様は図面特記部分を除き、以下による。 ※特組本足場 ○くさび緊結式足場 ○単管足場 手すり先行方式の適用 满する ○しない 養生シートの施工 ※する (災防I類 ○防災II類 ○垂直ネット) ○しない 壁つなぎアンカーについては、その固定間隔は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」の最新版に基づいて設定し、足場撤去時には、当該アンカー等施工時にについて、シーリング材充填など適切な復旧措置をとること。 | | ●保温工事仕様表(図面特記部分を除く) | | | | | | |
|--|---|--|--|---------------------|--|--|--|--|--|--|
| 1) 保溫工事の施工場所別仕様については、標示によるほか、下表による。ただし、本表に記載のない区分については、標示による保溫材は、標示に規定される密度を有しないものは、使用してはならない。 | | | | | | | | | | |
| 施工区分 | 屋内露出(一般居室、廊下) | 機械室、書庫、倉庫 | 天井内、パイプ/ダクトシャフト内及び空隙壁中 | 暗渠内(ビット内含む) | 屋外露出・多湿箇所(厨房天井内は除く) | | | | | |
| 施工箇所 | 材料、施工順序 保溫材の厚み | 材料、施工順序 保溫材の厚み | 材料、施工順序 保溫材の厚み | 材料、施工順序 保溫材の厚み | 材料、施工順序 保溫材の厚み | | | | | |
| 管(縫合及び弁類を含む) | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ※合成樹脂製カバー1 ○合成樹脂製カバー2 ●カラー・亜鉛鉄板 | VII | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス | VII | 1. ポリスチレンフォーム保溫筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラーラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 鉄板(ガルバリウム鋼板) | | | | | |
| 給排水衛生設備工事の保溫 | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス | I | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス | I | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※ステンレス鋼板 ○カラーラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 鉄板(ガルバリウム鋼板) | | | | | |
| 機器 | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス | VII | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス 粘着テープ | VII | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス 粘着テープ | | | | | |
| 空気調和設備工事の保溫 | 1. ロックワール保溫帶 2. 鉄線 3. カラー・亜鉛板 | IX | 1. ロックワール保溫帶 2. 鉄線 3. カラー・亜鉛板 | IX | 1. ロックワール保溫帶 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス 4. 金網 | | | | | |
| 空気調和設備工事の保溫 | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2 ●カラー・亜鉛板 | III | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス 5. アルミガラスクロス | III | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. アルミガラスクロス 4. ※ステンレス鋼板 ○カラーラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 鉄板(ガルバリウム鋼板) | | | | | |
| 空気調和設備工事の保溫 | (外装材指定) 1. ※カラー・亜鉛板 ○合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2 ○保温化粧ケース | | | | (外装材指定) 1. ※ステンレス鋼板 ○カラーラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 鉄板(ガルバリウム鋼板) | | | | | |
| 一般ダクト | 1. 鉄 2. グラスワール保溫板 3. ※カラー・亜鉛板 ○ステンレス鋼板 | XI | 1. 鉄 2. アルミガラスクロス 3. グラスワール保溫板 3. アルミガラスクロス 粘着テープ | XI | 1. 鉄 2. グラスワール保溫板 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. ※ステンレス鋼板 ○カラーラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 鉄板(ガルバリウム鋼板) | | | | | |
| スパイラルダクト | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 2. アルミガラスクロス 粘着テープ | XI | 1. アルミガラスクロス化粧 2. 鉄線 2. アルミガラスクロス 粘着テープ | XI | 1. グラスワール保溫筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. ※ステンレス鋼板 ○カラーラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 鉄板(ガルバリウム鋼板) | | | | | |
| (注記) | <p>・通気管の保温は排水管からの分岐部から100mm以内の範囲に限り施工する。</p> <p>・本工事において、保溫工事に係る多湿箇所は()とする。</p> <p>・冷媒用断熱材被覆管の保温外装については、変形や垂れを生じないように適切に施工すること。</p> <p>・空調機の冷媒管及びドレン管の保温外装材については、屋内露出配管でかつ壁面支持とする場合、樹脂製保温化粧ケースを使用すること。</p> | | | | | | | | | |
| ○舗装要領断面図 | | | | | | | | | | |
| ○舗装表示標示工要領図 | | | | | | | | | | |
| 1) 地中埋設物(※コート製 ○樹脂製) a) 舗装のない場合 b) 舗装のある場合(特記のある場合のみ) | | | | | | | | | | |
| 2) 地中埋設物(鉄製) (舗装のある場合のみ) | | | | | | | | | | |
| 1) 車道仕様(A-5-1-5) 再生密粒アスファルト | 300 150 | 60 | 60 | 60 | 60 | | | | | |
| 2) 步道仕様(A-3-1-0) 再生密粒アスファルト | 300 100 | 60 | 60 | 60 | 60 | | | | | |
| 3) 公道仕様 公道の路盤材、舗装(基層・表層)の仕様等については、当該道路を所管する道路管理者の指示に従うこと。 | | | | | | | | | | |
| ●制約条件 | | | | | | | | | | |
| ○現場作業期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで | | | | | | | | | | |
| ○作業可能時間 ~ : | | | | | | | | | | |
| ○噪音発生工事 ※工期内常時施工可能 ○土日祝日の可能 ○施設管理者の指定日()を避ける | | | | | | | | | | |
| ●敷地内喫煙 禁止 ○施設管理者の指定場所()のみ可 ○制限無し | | | | | | | | | | |
| ○工 | | | | | | | | | | |

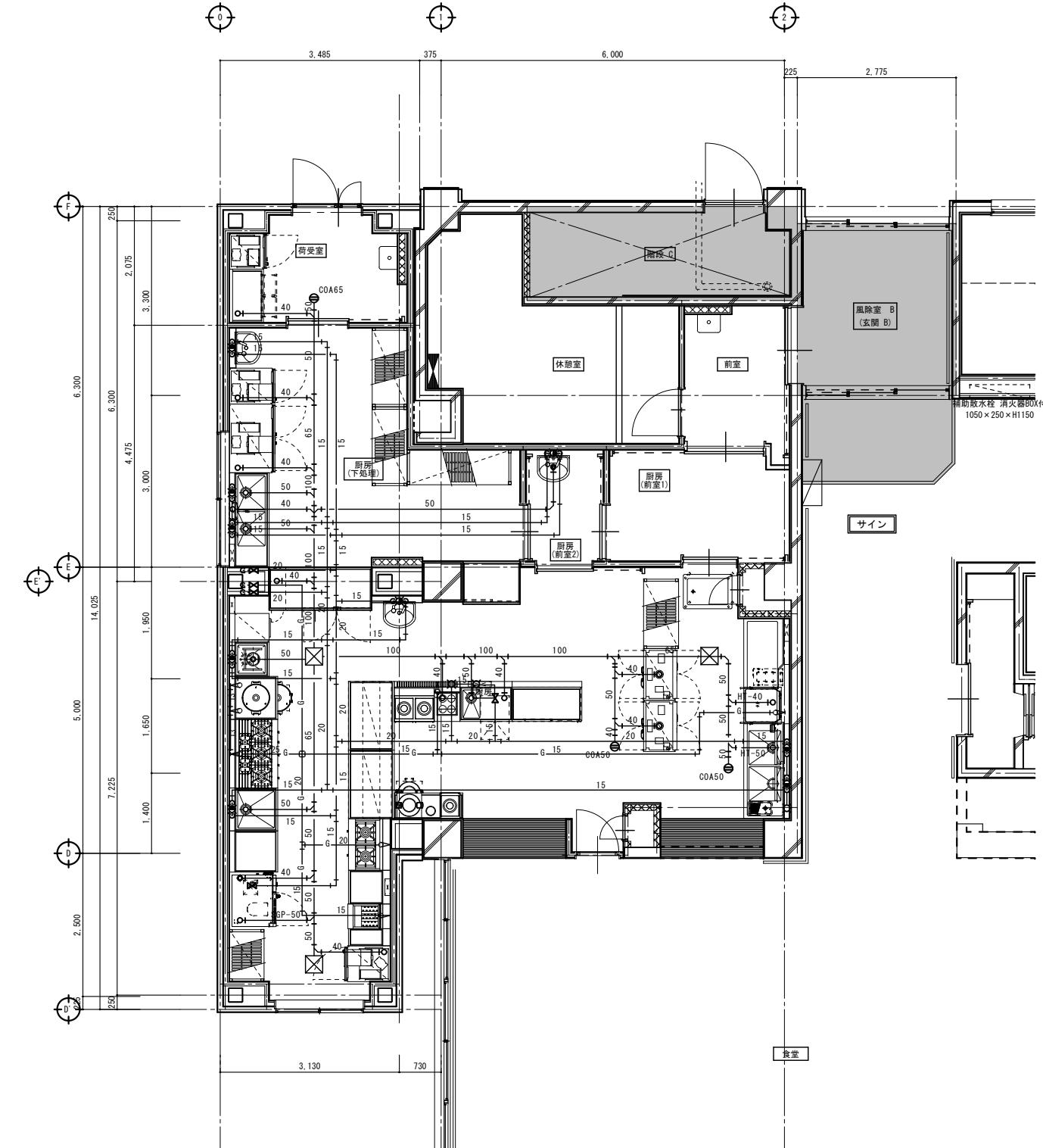
使 用 機 材 等 指 定 表 (機 械 の 部)

| 分類 | 機材名 | 適用範囲 | 製造者等 | 分類 | 機材名 | 適用範囲 | 製造者等 | 分類 | 機材名 | 適用範囲 | 製造者等 | 分類 | 機材名 | 適用範囲 | 製造者等 | | | | | |
|------|--------------------------|------------|--|-------|-----------------------------------|------------------------|--|-------------|---|---|--|--|--|---|--------------------------------------|---|---|--|--------|--|
| ボイラー | 鋼製簡易ボイラ 及び 簡易貢流ボイラ | | ㈱ I H I 淚用ボイラ 川重冷熱工業㈱ ㈱サムソン ㈱日本サーモエナー ㈱前田鉄工所 三浦工業㈱ 昭和鉄工㈱ | 空気調和機 | ガスエンジン式ポンプ式 空気調和機 | | アイシン精機㈱ ダイキン工業㈱ パナソニック㈱ 三菱重工冷熱㈱ ヤンマーエネルギーシステム㈱ | ダクト付属品 | 吹出口・吸込口 シリングディフューザー [*] スリット形吸込口 ノズル形吹出口 ユニバーサル形吹出口 総状吹出口 | ㈱有馬工業所 協同工業㈱ 協立エアテック㈱ 空研工業㈱ 椿工業㈱ ㈱フカガワ 丸光産業㈱ | 厨房機器 | 厨房システム | | ㈱アイホー タニコ一㈱ ㈱中西製作所 日本調理機㈱ ㈱フジマック ホシザキ㈱ ㈱マルゼン | 換気扇 | 天井付ダクトファン を含む | 東芝キヤリア㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ | | | |
| | 鋳鉄製ボイラ及び 鋳鉄製簡易ボイラ | | 川重冷熱工業㈱ ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ ㈱前田鉄工所 三浦工業㈱ | | エアフィルター | バネル形、折込み形 | ㈱アクシー ㈱忍足研究所 金井重工業㈱ 近藤工業㈱ ニッタ㈱ 日本エアフィルター㈱ 日本バイリーン㈱ 日本無機㈱ トドリ安全エア・クオリティ㈱ ㈱ユニバックス | | | 力ネソウ㈱ ㈱小島製作所 ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川鉄工所 福西铸物㈱ | | | | | | | | | | |
| | 鋼製小型ボイラ 及び 小型貢流ボイラ | | 川重冷熱工業㈱ ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ ㈱前田鉄工所 三浦工業㈱ | | 空気清浄装置 | 自動巻取形 | 金井重工業㈱ 近藤工業㈱ 東洋空気調和㈱ ニッタ㈱ 日本エアフィルター㈱ 日本バイリーン㈱ 日本無機㈱ | | 風量ユニット | 定風量ユニット 変風量ユニット | エアコンスター㈱ 協立エアテック㈱ 空研工業㈱ クボタ空調㈱ クリフ㈱ 新晃工業㈱ 東フレ㈱ | きょう及び蓋 | きょう及び蓋 (鋳鉄製) | 力ネソウ㈱ ㈱小島製作所 ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川鉄工所 福西铸物㈱ | | | | | | |
| | 鋼製ボイラ | | 川重冷熱工業㈱ ㈱高尾鉄工所 ㈱日本サーモエナー ㈱ヒラカワ | | 温水発生機 | 真空式 | 桂原冷熱システム㈱ ダイキン工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 日本熱源システム㈱ 日立グローバルソリューションズ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機㈱ | | 自動制御システム | | アーチバッカ㈱ アズビル㈱ ショーンコントロールス㈱ パナソニックエア・クオリティ㈱ | 衛生器具 | TOTO㈱ ㈱LIXIL | アロン化成㈱ 積水化学工業㈱ タキロン・アイ㈱ 前澤化成工業㈱ | | | | | | |
| | 温水発生機 | 無圧式 | 昭和鉄工㈱ ㈱巴商会 ㈱前田鉄工所 | | チーリングユニット及び 空気熱源ヒートポンプ ユニット | | 電気集じん器 | 自動巻取形、バネル形 | 東洋空気調和㈱ 日本エアフィルター㈱ 日本バイリーン㈱ ミニドリ安全エア・クオリティ㈱ | FRP製バネルタンク | | 積水アクアシステム㈱ HITANK㈱ 三菱ケミカルインフラ㈱ | 雨水タンク | ポリエチレン製 | 積水化学工業㈱ タキロン・アイ㈱ ㈱トーテツ ネポン㈱ | | | | | |
| 冷凍機 | 吸收冷温水機 | | 荏原冷熱システム㈱ 川重冷熱工業㈱ パナソニック㈱ 日立ジョンソンコントロール空調㈱ 三菱重工冷熱㈱ | 全熱交換器 | 回転形 | ㈱西部技研 高砂丸誠エンジニアリング㈱ | テラル㈱ | 密閉形隔膜式膨張タンク | 空調用 給湯用 | 日立金属㈱ 木一コス㈱ | ステンレス鋼板製 バネルタンク | 溶接組立形 | ㈱小笠原工業所 ㈱ベルテクノ 森松工業㈱ | ボルト組立形 | 積水アクアシステム㈱ 三菱ケミカルインフラ㈱ | 防災機器 | 防煙ダンパー 防火ダンパー 防煙・防火ダンバー | 日本防煙工業会「自走適合マーク」 貼付品又は国土交通大臣の認定を受けたもの | JIA認定品 | |
| | 吸收冷温水機ユニット | | 日立ジョンソンコントロール空調㈱ 矢崎エナジーシステム㈱ パナソニックシステムズ㈱ 日立ジョンソンコントロール空調㈱ 矢崎エナジーシステム㈱ | | 吸心冷凍機 | 多翼形送風機 | ㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱ | 製缶類 | 煙道・製缶類 | ㈱NYK西日本 三成鉄工㈱ ㈱島倉鉄工所 日立金属㈱ ㈱ベルテクノ 木一コス㈱ 森松工業㈱ | ガス漏れ警報器 | | (財)日本ガス機器検査 協会の合格証書又は高圧 ガス保安協会の検定合格 証書が貼付されたもの JIA認定品 | ガス漏れ警報装置 | ガス漏れ警報器 | マンホール蓋・弁ふた | ㈱一中 伊藤鉄工㈱ 沖縄鉄工業㈱ 力ネソウ㈱ ㈱工技研究所 ㈱小島製作所 昭和機器工業㈱ 西部機材㈱ 第一機材㈱ ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川鉄工所 福西铸物㈱ 北勢工業㈱ | | | |
| | 遠心冷凍機 | | 荏原冷熱システム㈱ ダイキン工業㈱ トレイン・ジャパン㈱ 日立ジョンソンコントロール空調㈱ 三菱重工冷熱㈱ | | 送風機 | 斜流送風機 | ㈱荏原製作所 テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱ | 鋳鉄製ふた | 屋内消火栓箱 放水口・送水口 ノズル 消防用機械器具等 | | スプリンクラー消火システム | | 二ッターン㈱ 日本ライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 木一チキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱ | 電気温水器 | TOTOTOTO㈱ ㈱日本イトミック ㈱LIXIL | ㈱ノーリツ リノバロマ バーバス㈱ 大阪ガス㈱ ㈱三進ろ過工業 | | | | |
| | 冷却塔 | | 荏原冷熱システム㈱ 空研工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 日立ジョンソンコントロール空調㈱ 三菱ケミカルインフラ㈱ 矢崎エナジーシステム㈱ | | 空気調和機 | ユニット形空気調和機 | 木村工機㈱ クボタ空調㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 高砂丸誠エンジニアリング㈱ | ボンブ | 軸流送風機 | ㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ ミツヤ送風機㈱ | 不活性ガス消火システム | エア・ウォーター防災㈱ ㈱コーアツ 東京計器㈱ 二ッターン㈱ 日本ドライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 木一チキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱ | ガス給湯器 | | マンホール蓋・弁ふた | ㈱一中 伊藤鉄工㈱ 沖縄鉄工業㈱ 力ネソウ㈱ ㈱工技研究所 ㈱小島製作所 昭和機器工業㈱ 西部機材㈱ 第一機材㈱ ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川鉄工所 福西铸物㈱ 北勢工業㈱ | | | | |
| | 空気調和機 | ユニット形空気調和機 | 木村工機㈱ クボタ空調㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 高砂丸誠エンジニアリング㈱ | | ボンブ | 横形遠心ポンプ | ㈱荏原製作所 ㈱川本製作所 ㈱相互ポンプ製作所 テラル㈱ ㈱日立産機システム | 消火装置 | 排煙機 | (一財)日本建築センターの 性能評定マークが貼付されたもの | 消音ボックス付 送風機 | ㈱荏原製作所 テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱ | 泡消火システム | 二ッターン㈱ 日本ドライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 木一チキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱ | ろ過循環設備 | | ㈱一成研 東洋滤水機㈱ ㈱日本サーモエナー ミウラ化学装置㈱ 理水化学㈱ ローレル㈱ | | | |
| | コンパクト形空気調和機 | カセット形含む | 木村工機㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 暖冷工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 三菱重工冷熱㈱ | | ボンブ | 水中モーターポンプ | 木村工機㈱ ㈱荏原製作所 エア・モーター㈱ ㈱川本製作所 ㈱相互通風機製作所 エレポン㈱ ㈱日立産機システム | 立形遠心ポンプ | 立形遠心ポンプ | ㈱荏原製作所 グランドフォスポンブ㈱ ㈱鶴見製作所 テラル㈱ | ハロゲン化物消火システム | 二ッターン㈱ 日本ドライケミカル㈱ 能美防災㈱ ㈱初田製作所 木一チキ㈱ モリタ宮田工業㈱ ヤマトプロテック㈱ | バルク供給装置 | I-T-O㈱ カグラベーパーテック㈱ 中國工業㈱ 富士工業㈱ 矢崎總業㈱ | | | | | | |
| | パッケージ形空気調和機 | マルチタイプ含む | 木村工機㈱ クボタ空調㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 暖冷工業㈱ 三菱重工冷熱㈱ | | ボンブ | 加圧給水ポンプ ユニット | ダイキン工業㈱ 東芝キヤリア㈱ パナソニック㈱ 日立ジョンソンコントロール空調㈱ 三菱重工冷熱㈱ | 立形遠心ポンプ | 立形遠心ポンプ | ㈱荏原製作所 ㈱川本製作所 テラル㈱ | ハロゲン化物消火システム | エア・ウォーター防災㈱ ㈱コーアツ 二ッターン㈱ 能美防災㈱ | | | | | | | | |



現況 衛生設備平面詳細図

| 特記事項 | |
|--|--|
| 1) 図中X印は、撤去を示し、今回不要になる部分を示す。実線は既設を示す。 | |
| 2) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 | |
| 3) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認承諾の上、工事を行う事。 | |
| 4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 | |
| 5) 不要の配管は、改修工事が完了後速やかに、閉止及び撤去する事。 | |
| 6) 本工事に必要な仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 | |
| 7) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。 | |
| また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は 本工事内で処理の事。 | |



改修後 衛生設備平面詳細図

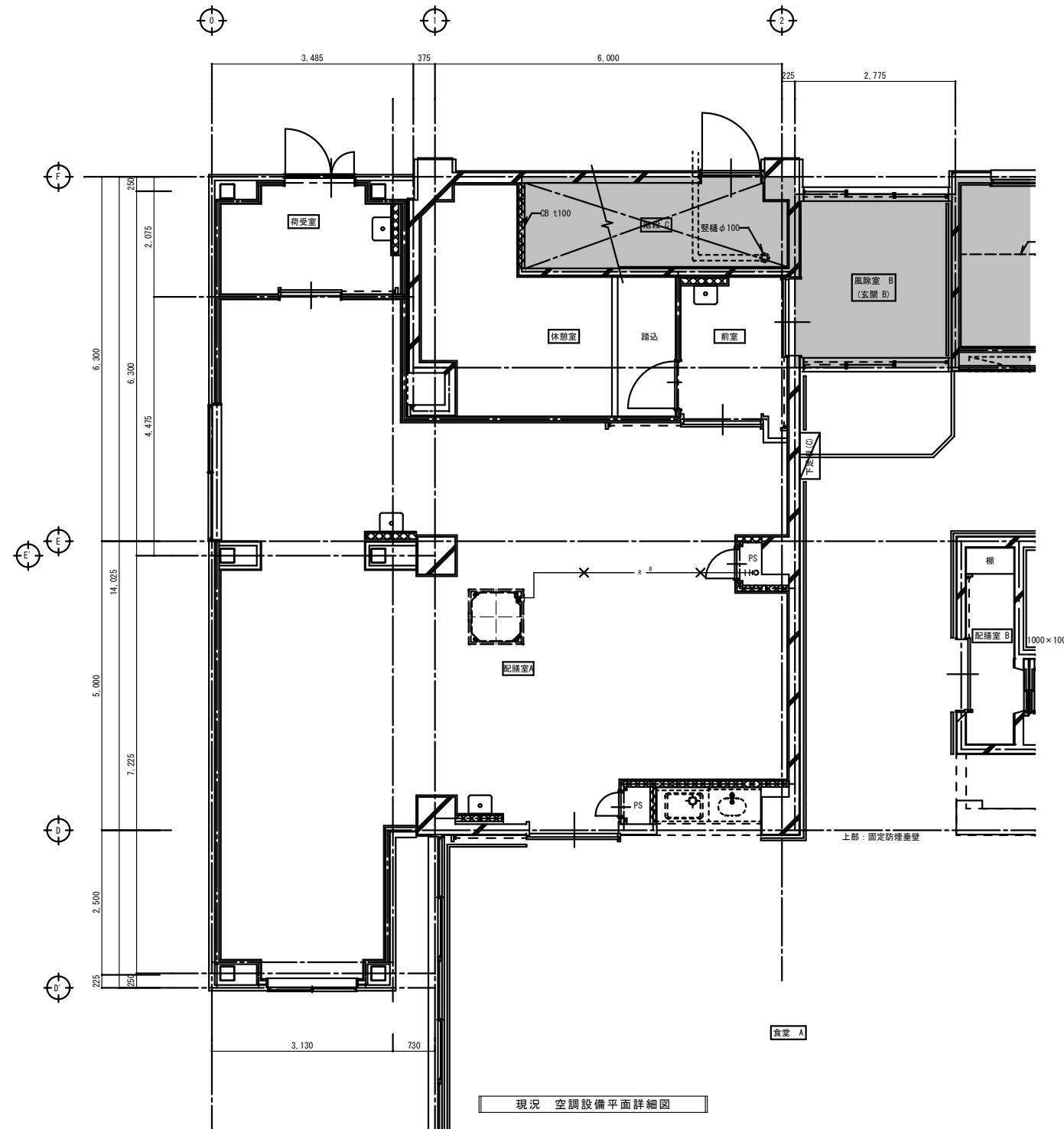
| 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 訂 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

| FILE No. | 工事名 | SCALE | M |
|----------|-----------------|------------------|--------------------|
| | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | 現況 改修後 衛生設備平面詳細図 | 1:50 (A1) No. 4 |

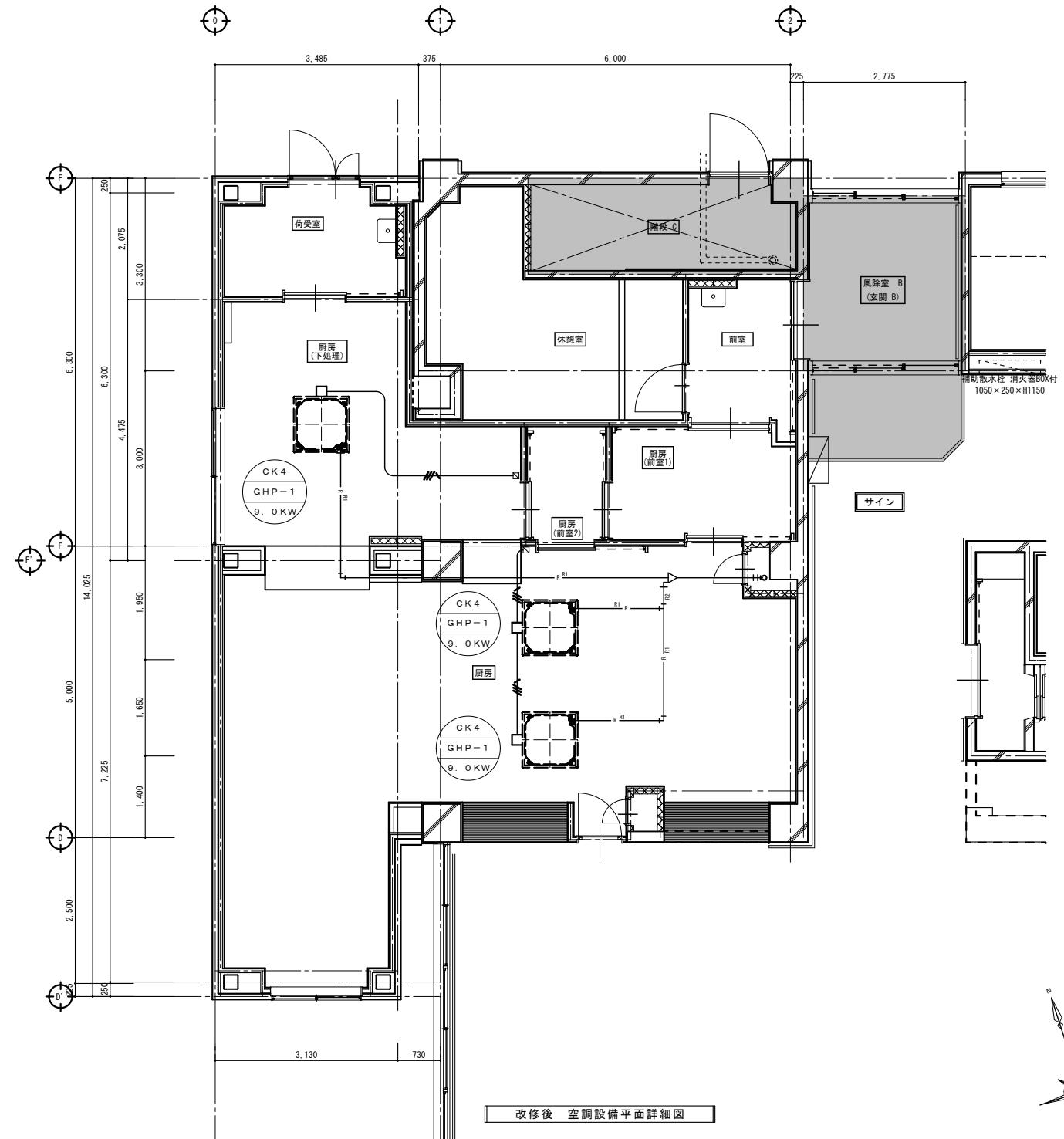


新設 機器リスト

| 図面記号 | 名 称 | 仕 样 | 電気容量 | 数量 | 備 考 | 図面記号 | 名 称 | 仕 样 | 電気容量 | 数量 | 備 考 |
|-------|--|--------------------------------------|-------------------------|----|---------|---------|-----------|----------------------------------|-----------------|----|-----------|
| GHP-1 | ガスヒートポンプエアクコン | 型式 ビル用マルチ室内機、天井埋込カセット型（4方吹出）自動昇降パネル共 | 1φ 200V 屋内 ファン 0.053 KW | 3 | | F E Y-1 | 有 壓 換 気 扇 | 型式 低騒音型（絶対音用） | 3φ 200V 0.75 KW | 1 | EWF-50FTA |
| CK 4 | 冷房能力 9.0 KW 暖房能力 10.0 KW | 消費電力 冷房： 0.128 KW | | | ダイキン同等品 | | | 羽根径 φ 500 風量 7200 m³/h 静圧 110 Pa | | | 三菱同等品 |
| | 2次側電源制御配線（リモコン共）本工事 冷媒配管φ 9.5 x φ 15.9 | | | | 新設 | | | 防虫網付ステンレス製ウェザーカバー 騒音 53.5 dB | | | 新設 |
| | ドレンアップメカ内蔵、その他付属品1式共 | | | | | | | 電気式シャッターハウス | | | |



現況 空調設備平面詳細図



| 凡 例 | | |
|--------------------|-----------------|-------------------------|
| 記号 | 名 称 | 備考 |
| 国交省記号: CK, CR, CRK | | |
| 系統 冷房能力 | 室外機NO. - 室内機NO. | ガス式: GHP、電気式: ACP (EHP) |
| R | 冷媒配管 | 断熱材被覆銅管 (L) CU |
| D | ドレン管 | 塩化ビニール管 VP |

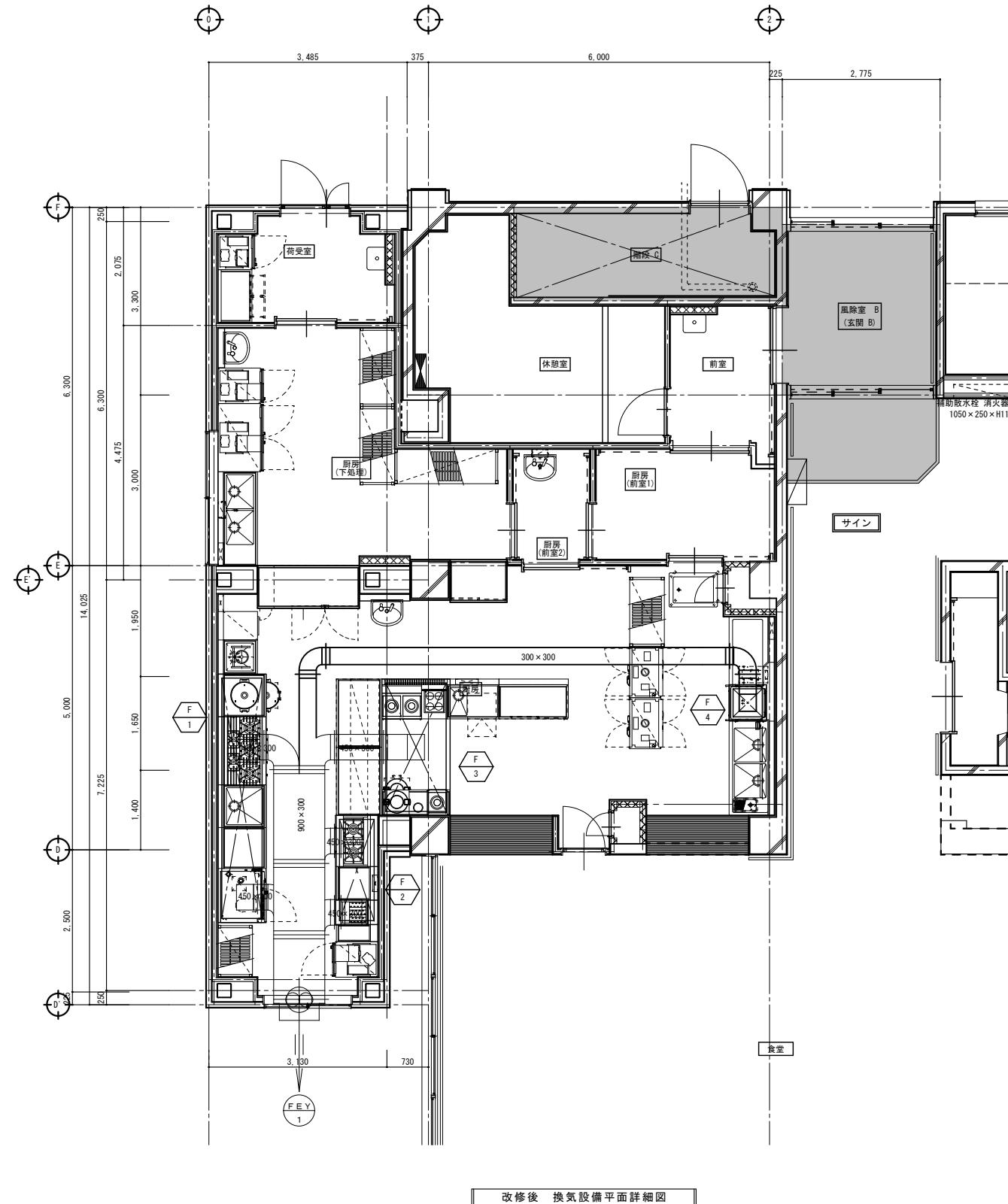
| 凡 例 | | |
|------|------|-----------------|
| 図示記号 | 名 称 | 備 考 |
| R | 冷媒配管 | φ 28.6 x φ 12.7 |
| R 1 | 冷媒配管 | φ 15.9 x φ 9.5 |
| R 2 | 冷媒配管 | φ 19.1 x φ 9.5 |
| R 3 | 冷媒配管 | φ 28.6 x φ 12.7 |

| 特記事項（既設改修） | | | 特記なき配管配線は下記に依る。 |
|---|--|--|---|
| 1) 図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示す。 | | | |
| 2) 図中既設配管の位置、サイズ等について、十分現場確認を行った上で施工する事。 | | | 室内機リモコン回路 EM-AE 1..2-2 C |
| 3) まわり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認申請の上、工事を行う事。 | | | 1) 2重天井内はケーブル配線とする。 |
| 4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 | | | 2) ケーブル配線の立上り、立下りは P F 管で保護の事。 |
| 5) 排去工事に伴う、図示明記無く不要穴等は原則閉塞の事。 | | | 3) 防火区画、界壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 |
| 6) 不要の配管は、改修工事が完了後速やかに、閉栓及び撤去する事。 | | | 4) 図示 <input checked="" type="checkbox"/> は、空調用リモコン（機械工事）を示す。 |
| 7) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 | | | |
| 8) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。 | | | |
| また、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は | | | |
| 木工事内で処理の事。 | | | |

| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
|-----|-----|-----|-----|
| . | . | . | . |
| . | . | . | . |
| . | . | . | . |

| FILE No. | 工事名 |
|----------|-----------------|
| | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 |

| 旧ケアセンターおおつ棟 新設 機器リスト | SCALE | M |
|-------------------------|----------|-------|
| 現況 改修後 空調設備平面詳細図 | 1:50(A1) | No. 5 |



1) 本工事使用の換気フードは、全てステンレス鋼板1.0tとし縫目は溶接とし、必要に応じ補強材（ステンレス材）をフード内部に取り付けること。



| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 正 | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

| FILE No. | 工事名 | | |
|----------|-----------------|--|--|
| | 旧ケアセンターおおつ棟改修工事 | | |

| | | |
|---------------------------------|--------------------|---------------|
| 旧ケアセンターおおつ株 現況 改修後 換気設備平面詳細図 | SCALE 1:50 (A1) | M No. 6 |
| | | |